KENWOOD

DVD / VCD / CD プレーヤー

DVR-7000

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご使用の前に、「安全上のご注意」（4～7ページ）を必ずおよみください。

B60-5151-08 00 (J) OC 01/07

特長

この説明書では次のようなマークで、DVD、ビデオCD、またはCDで使用できる機能を表しています。

DVD **:DVDで使用できる機能を表します。**

VCD **:VCD（ビデオCD）で使用できる機能を表します。**

CD **: CDで使用できる機能を表します。**

DVD
S-VHSやレーザーディスクを越える高画質

DVD
音楽CDよりもサンプリング周波数が高く、高音質で楽しめます

DVD VCD CD
テレビの画面上で操作が簡単にできるGUI（グラフィカルユーザーインターフェース）

DVD
DVDならではの多彩な再生機能

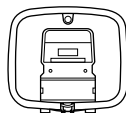
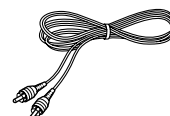
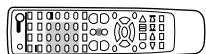
DVD CD
DTSデジタルデコーダー内蔵

DVD VCD CD
ドルビープロロジック II デコーダー内蔵

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

FM室内アンテナ .... (1)

AMループアンテナ .... (1)

ビデオコード（黄色）................. (1)

リモートコントロールユニット ..... (1)

リモコン用乾電池 .... (2)
（単4形アルカリ乾電池）

スピーカーコード .... (6)

もくじ

⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

準備編

操作編

知識編

安全上のご注意

⚠ この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

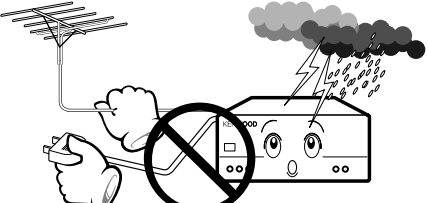
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は感電注意) が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け) が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

⚠警告

指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

使用禁止

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》
- 修理をご依頼ください。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。
- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。

《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。

- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステープルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。

《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》

風呂場では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

異常かな？と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》
- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。

電源プラグをコンセントから抜け

雷が鳴り始めたら

接触禁止

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》

乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》

⚠ 警告

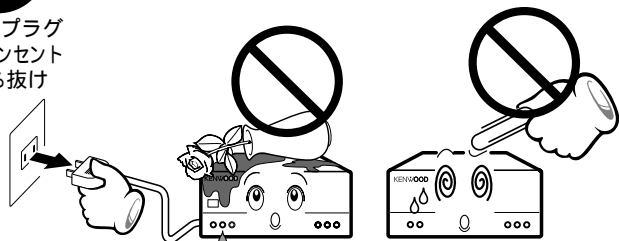
水ぬれ
禁止

電源プラグ
をコンセント
から抜け

機器の内部に異物や水を入れない

内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

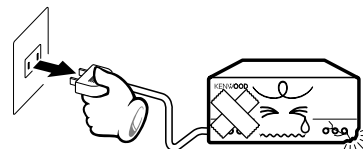
《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

電源プラグ
をコンセント
から抜け

落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。

分解禁止

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

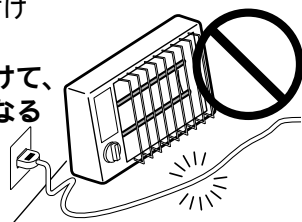
《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。

⚠ 注意

電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》

指定以外のコードを使わない

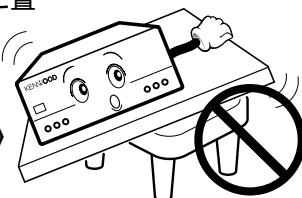
関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

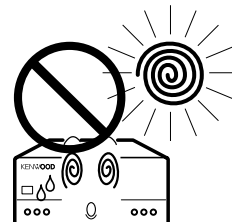
- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

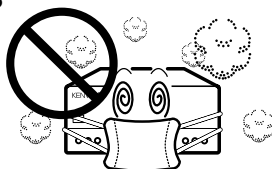
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》

水ぬれ
禁止

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》

電源プラグ
をコンセント
から抜け

長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》

音量に気をつけて

電源を入れる前に、音量（ボリューム）を最小にしてください。
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

お手入れの際は

電源プラグをコンセントから抜け

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》

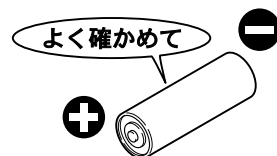
指をはさまれないよう注意

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》

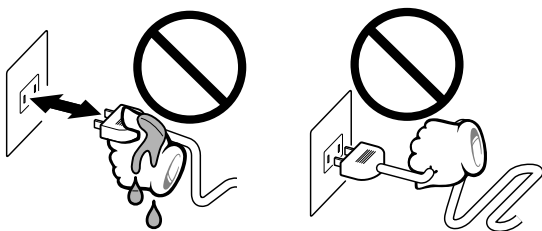
電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

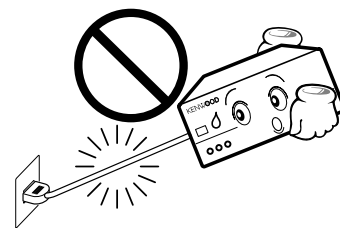
- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。

電源プラグの抜き差しは

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
《感電の原因になることがあります》

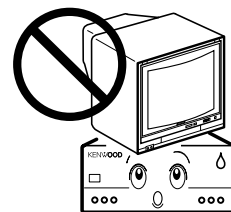
電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》

機器を移動させる際は

電源プラグをコンセントから抜け

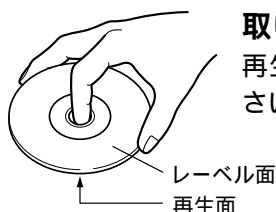
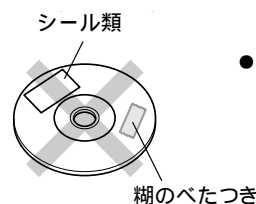
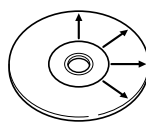
移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード（アンテナ線や機器間の接続コードなど）を、はずしてください。
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

電源プラグは清潔に

1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》

指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。
《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》

本機のお手入れ
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活材について
接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

ディスク取扱上のご注意

取り扱い
再生面にふれないように持ってください。

- 再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない
再生中、ディスクは本機内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて
図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。
シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

結露にご注意
本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

輸送時または移動時のご注意
本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行って、ディスクの入っていないことを確かめてください。

1. **EJECT**（イジェクト）（▲）キーを押し、ディスクトレイを開ける。
2. ディスクが入っていたら、ディスクを取り出す。
3. **EJECT**（イジェクト）（▲）キーを押し、ディスクトレイを閉める。
4. 数秒待って、**POWER**スイッチをオフにします。

メモリーバックアップ機能

電源コードをコンセントから抜いた後、最小1週間保持されるメモリーの内容	**アンプ部** 入力切り替えの設定 音量設定値 サラウンドの設定 CINEMAイコライザー B.BOOST設定 **チューナー部** 受信バンド 受信周波数 プリセット放送局 選局モード設定 DVD部 メニュー設定 **電源オン/スタンバイ状態**

再生できるディスクの方式と種類

本システムでは、CDで音楽を楽しむだけでなく、以下のディスクを再生することにより、映画やライブなどの映像を高画質で楽しむことができます。

再生できるディスク		DVD		CD		VCD
ディスクに表示されているロゴマーク		DVD VIDEO		COMPACT disc DIGITAL AUDIO		COMPACT disc DIGITAL VIDEO
ディスクの大きさ		8cm	12cm	8cm	12cm	12cm
再生面		片面または両面	片面または両面	片面のみ	片面のみ	片面のみ
内容	映像＋音声	約41分（片面1層） 約75分（片面2層） 約82分（両面1層） 約150分（両面2層）	約133分（片面1層） 約242分（片面2層） 約266分（両面1層） 約484分（両面2層）			最大74分 デジタル
	音声			最大20分 デジタル	最大74分 デジタル	

再生できないディスク

次のディスクは再生できません。

- PAL方式で記録されたDVDディスク
- DVD-ROMディスク
- DVD-R、DVD-RAM、DVD-RWディスク
- CD-ROM（MP3ディスク（ISO 9660 レベル 1）を除く）
- VSDディスク
- SVCDディスク
- CDVディスク（音声部分のみ再生可能）
- CD-G、CD-EG、CD-EXTRAディスク（音声部分のみ再生可能）
- フォトCDディスク（絶対に再生しないでください）

DVDディスクに表示されている各種のアイコン（絵表示）について

アイコン	意　味
ALL	再生可能な地域番号（リジョンコード）を示します。
8	オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大8ヶ国語）
32	サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。（最大32ヶ国語）
9	アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。（最大9アングル）
16:9 LB	選ぶことのできるアスペクト比を示します。（→38、→43）左の例では16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています。

リジョンコード

本機の地域番号(リジョンコード)

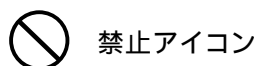
ＤＶＤでは、国ごとに割り当てられた地域番号(リジョンコード)が定められており、ＤＶＤディスクに表示されている地域番号(リジョンコード)と一致しないと再生できません。

本機の地域番号(リジョンコード)は "2 "です。

本機で再生できるDVDディスクの地域番号について

本機で再生できるDVDディスクは、本機の地域番号(リジョンコード)と一致した番号 "2 "が表示されているディスク、または本機の地域番号(リジョンコード)の含まれた表示のあるディスク、下の "ＡＬＬ "表示のあるディスクのみです。また地域番号(リジョンコード)の表示のないディスクでも、制限がある場合があり、本機で再生できないことがあります。

ディスクの違いによる制限について

ＤＶＤ、ＶＣＤ は、ソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。
操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン

テレビ画面のビデオフォーマットについて

テレビ画面のビデオフォーマット

テレビの画面表示方式およびディスクの信号方式には大きく分けて二つのタイプ(PAL/NTSC)があり、国や地域によって違います。(右図参照)このため、お使いになるテレビの方式(国や地域)に合わせて、ディスクを選ぶ必要があります。

本機で再生できるディスクはNTSC方式、リジョンコード "2 "または" ALL "のディスクです。

主な国のテレビ方式

TVの方式	主な国や地域
NTSC	日本、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、フィリピン、チリ…など
PAL	中国、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージランド、クエート、シンガポール…など

テレビのビデオフォーマットの設定

通常日本国内で使用する場合はテレビの方式も販売されているディスクもNTSC方式です。
NTSC/PAL切り替え方式のテレビをお持ちの場合はNTSCに切り替えてお使いください。

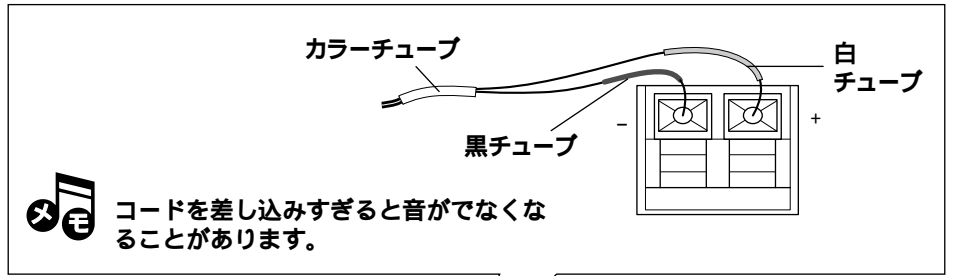
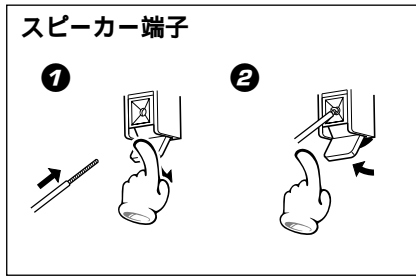
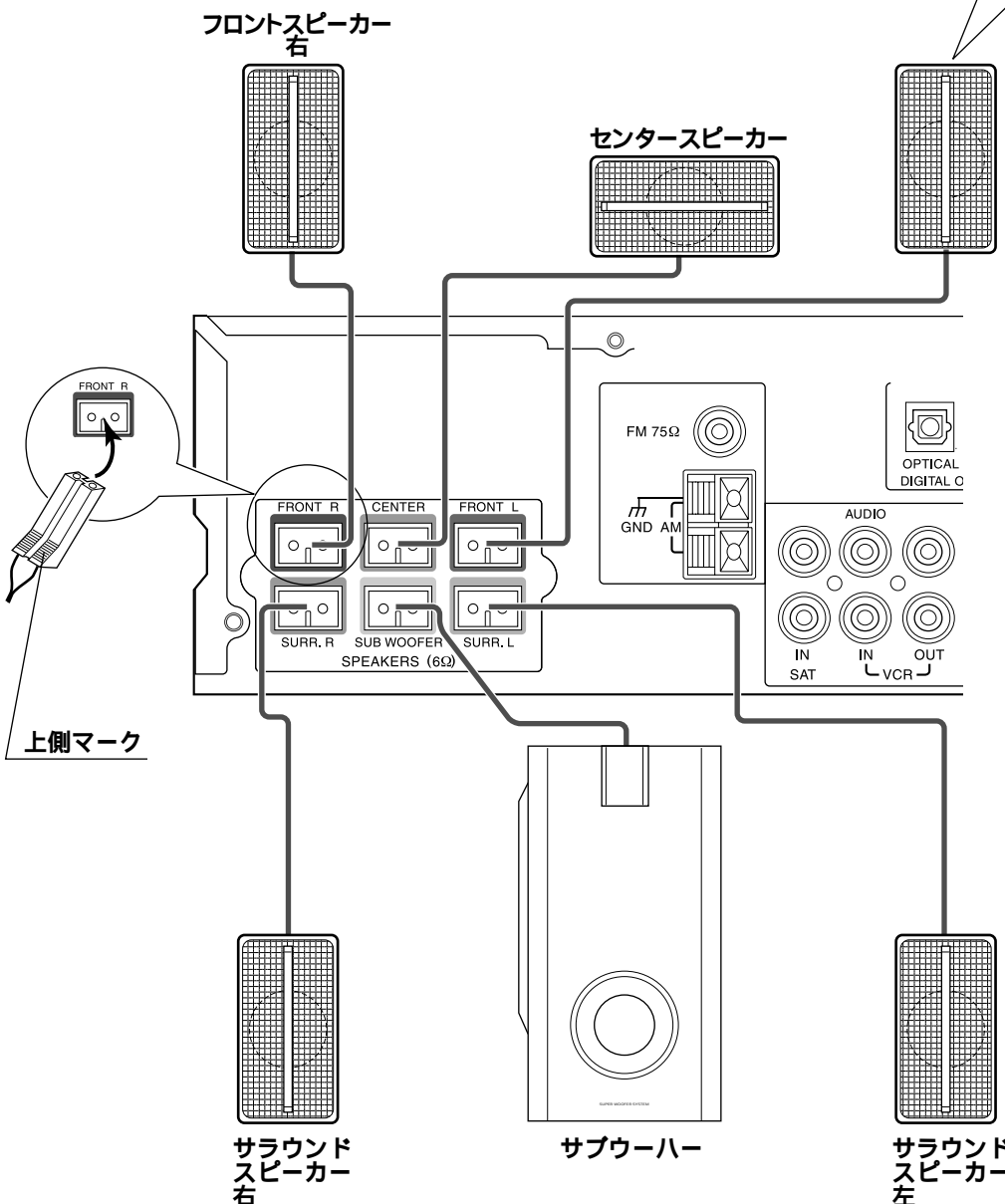
下図のように接続してください。
関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

⚠注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

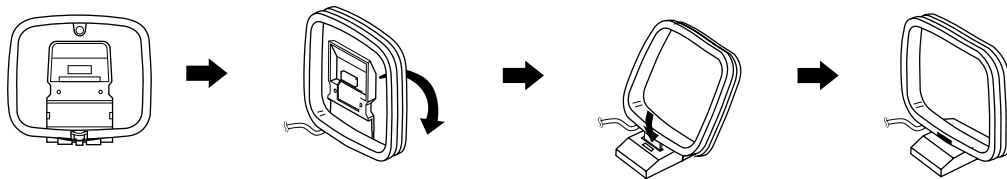
設置のご注意
過熱による火災の原因となりますので放熱の妨げになるものを天板の上に置かないでください。

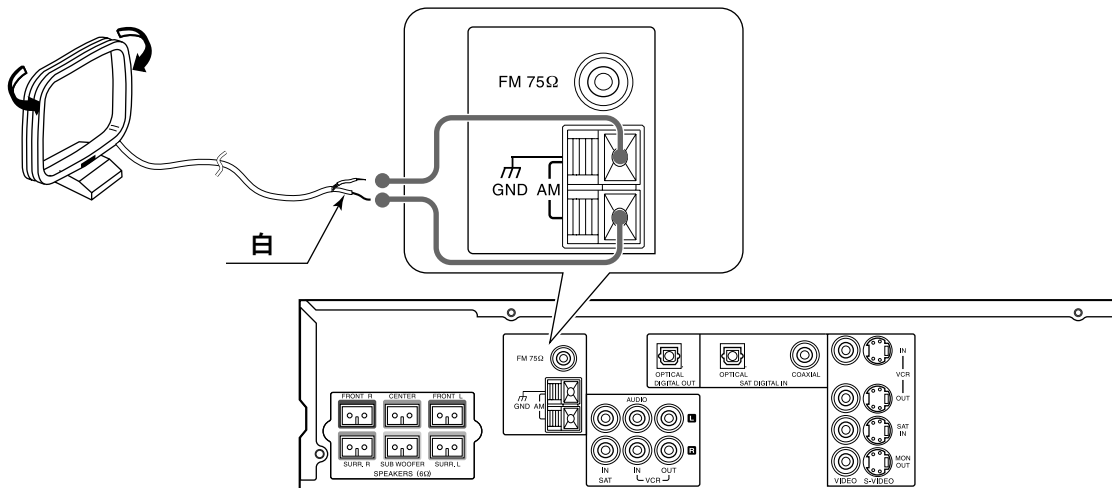
マイコンの誤動作について
メモ　**正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら」を参照してマイコンをリセットしてください。**
→55

スピーカーの接続

スピーカーコードの端子の色と、本体背面のスピーカー端子板の色を同系色に合わせて接続します。
スピーカー背面の＋側端子の色とスピーカーコードのチューブの色を同系色に合わせて接続します。

スピーカー	本体背面のスピーカー端子板の色
フロント右	レッド（赤）
センター	グリーン（緑）
フロント左	ブルー（青）
サラウンド右	オレンジ（橙）
サブウーハー	ブラウン（茶）
サラウンド左	グレイ（灰）

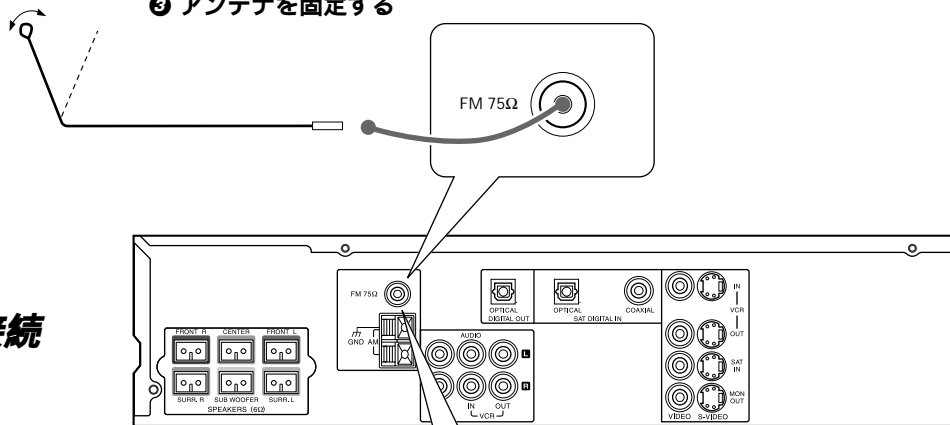
⚠ ***ご注意：このページは安全のため、よくお読みください。***

AMループアンテナ

AM ループアンテナの接続

付属のアンテナは室内専用です。本体や、テレビ、スピーカーコード、電源コードなどからできるだけ離してください。受信状態が一番良くなる向きにセットしてください。

FM アンテナ

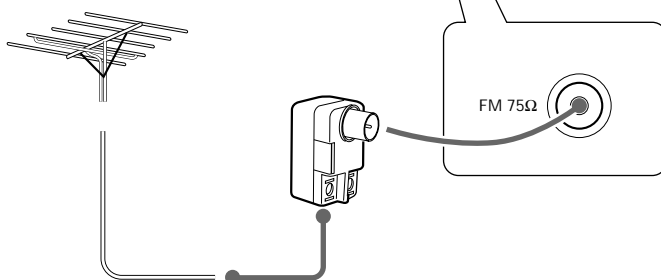
FM 室内アンテナの接続

付属のアンテナは一時的に使用するための室内アンテナです。放送の安定した受信をするためには屋外アンテナのご使用をおすすめします。屋外アンテナを接続した場合は室内アンテナは取り外してください。

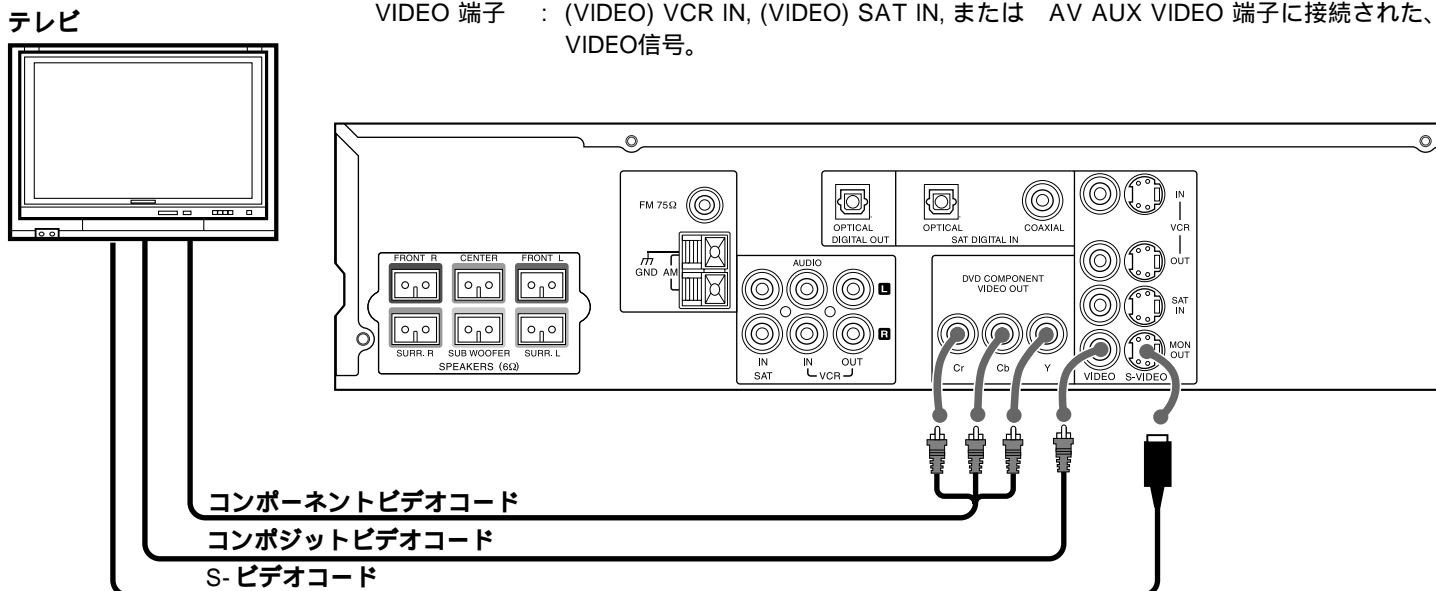
❶ アンテナ端子に接続する
❷ 受信状態のもっとも良くなる位置に向ける
❸ アンテナを固定する

FM 75Ω

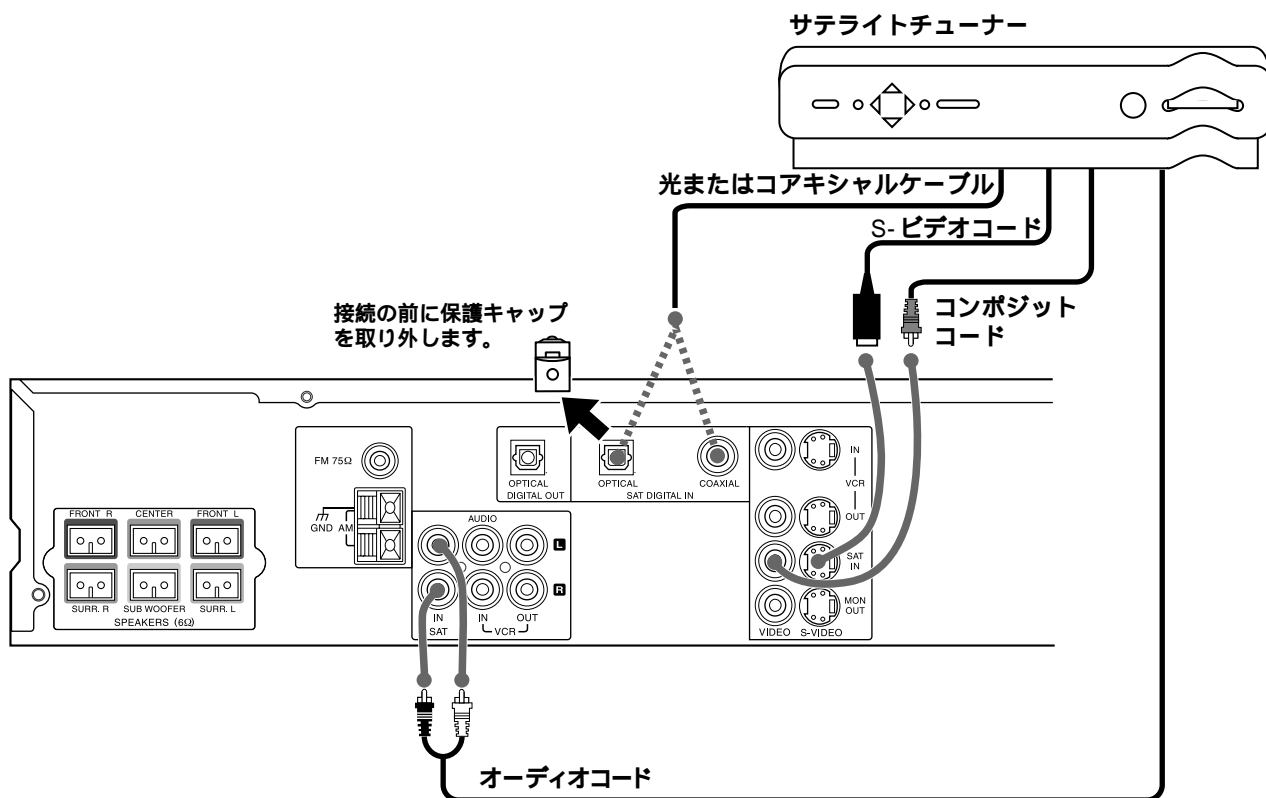
FM 屋外アンテナの接続（市販）

75 Ω 同軸ケーブルをFM屋外アンテナに接続して、図のように本機の FM 75 Ω 端子に接続します。

FM 75Ω

テレビに接続する

MONITOR OUT 端子から出力される信号は入力によって下のように変わります。異なるタイプの信号は出力されませんのでご注意ください。

S-VIDEO 端子 ： (S-VIDEO) VCR IN, (S-VIDEO) SAT INまたはAV AUX S端子に接続された、S-VIDEO信号。
VIDEO 端子 ： (VIDEO) VCR IN, (VIDEO) SAT IN, または AV AUX VIDEO 端子に接続された、VIDEO信号。

テレビにコンポーネント端子がある場合は、コンポーネント接続をすると、DVDの映像が高画質でごらんになれます。
この場合でもS-ビデオコード、コンポジットコードも合わせて、接続してください。

サテライトチューナーに接続する

サテライトチューナーのデジタル出力端子の方式に従って、光またはコアキシャルケーブルを接続します。

オーディオビデオ機器に接続する

MD レコーダーや、CD レコーダーでデジタル録音する場合

光ケーブル

デジタル出力はPCM方式です。

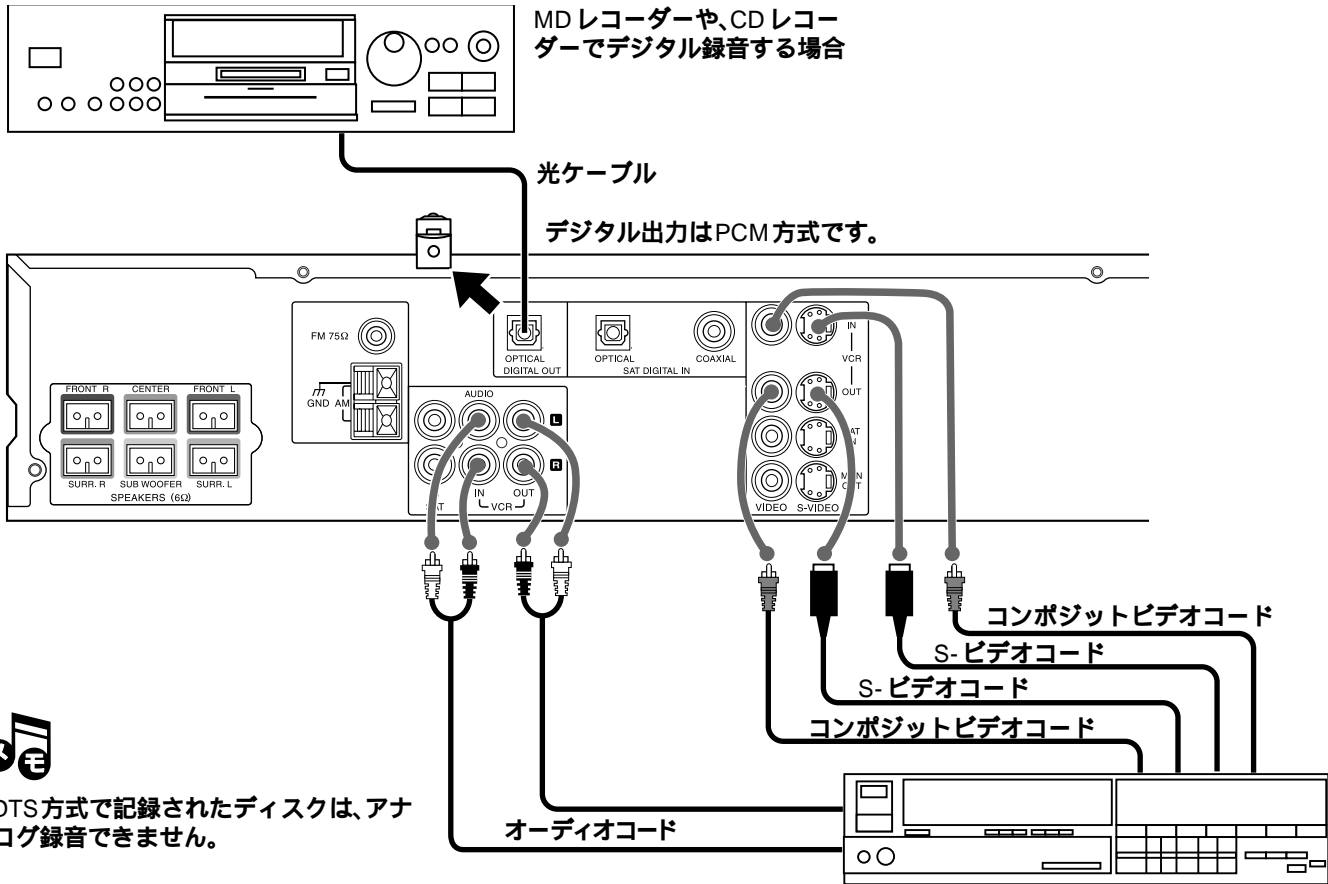
コンポジットビデオコード

S-ビデオコード

S-ビデオコード

コンポジットビデオコード

オーディオコード

メモ

DTS方式で記録されたディスクは、アナログ録音できません。

ビデオカメラや、テレビゲーム機を接続する

各部の名前

INTRO SCAN表示
RANDOM表示
AUTO表示
TUNED(同調)表示
ST(ステレオ受信)表示
キーロック表示
PROG. 表示
CINEMA EQ モード表示
TITLE表示
TRACK表示
CHAPTER表示
再生/一時停止表示
B. BOOST表示
PBC表示
DVD表示
VCD表示
CD表示
MP3表示
REPEAT表示
REPEAT
A-B REPEAT
文字情報表示
入力/出力状態表示
L : 左スピーカー
C : センタースピーカー
R : 右スピーカー
LFE : 低音効果
SW : サブウーハー
LS : 左サラウンドスピーカー
S : サラウンドスピーカー
RS : 右サラウンドスピーカー

表示部

❶ STANDBY 表示 → 15
❷ POWER スイッチ → 17

LISTEN MODE 表示

❸ DTS 表示 → 45
❹ DOLBY DIGITAL 表示 → 45
❺ PRO LOGIC 表示 → 45
❻ DSP 表示 → 45
❼ CS-5.1 表示 → 45

❽ BAND キー → 20
❾ ⏮, ⏭ (スキップ) キー → 20 → 23
❿ AV AUX S VIDEO ジャック → 14
⓫ AV AUX VIDEO ジャック → 14
⓬ AV AUX AUDIO ジャック → 14
⓭ AV AUX OPTICAL ジャック → 14
⓮ PHONES ジャック → 17
⓯ ドアー → 17
⓰ ▶/❚❚ (PLAY/PAUSE)再生/一時停止キー → 22
⓱ ■ (STOP)停止キー → 22
⓲ INPUT(入力切換)キー → 17
⓳ VOLUME CONTROL ツマミ → 17
⓴ ⏏ (EJECT) 取り出しキー → 22
㉑ ディスクトレイ → 22

STANDBY 表示について

電源コードをコンセントに差し込み、本体の**POWER** スイッチ を **ON**にすると**STANDBY**インジケーターが点灯します。スタンバイ状態の時リモコンの**POWER** キーを押すと**STANDBY**インジケーターが消え、本機は動作状態になります。動作状態の時**POWER** スイッチを**OFF**にしたときは、次に**POWER** スイッチを**ON**にすると動作状態になります。またスタンバイ状態の時**POWER** スイッチを**OFF**にしたときは、次に**POWER** スイッチを**ON**にするとスタンバイ状態になります。

型名　：RC-R0721
赤外線方式

本体と同じ名前のリモコンキーは本体と同じ働きをします。

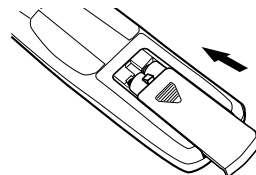
❶ LED 表示 → 49
❷ MUTE キー → 17
❸ INPUT SELECTOR キー → 17
DVD CD キー
RADIO/BAND キー
VCR キー
SAT (サテライト) キー
AV AUX キー
❹ Device（機器）キー → 49
TV キー
CABLE キー
❺ 数字キー (0 - 9, +10,+100) → 21 → 23 → 53
CLEAR キー → 24
P.MODE キー → 31
❻ スピーカー選択キー → 48
F (フロント) キー
C (センター) キー
R (リアー/サラウンド) キー
SW (サブウーハー) キー
❼ CH.(チャンネル) + キー → 53
/REPEAT キー → 29
❽ CH.(チャンネル) - キー → 53
/A-B リピートキー → 29
❾ TRIM / MULTI CONT.
上 (▲), 下 (▼) キー → 19 → 46
❿ TOP MENU キー → 33
/GUIDE キー → 53
⓫ カーソル上 (▲), 下 (▼), → 31
左 (◄) 右 (►) キー → 24
ENTER キー → 21
⓬ RETURN キー/ → 38
EXIT キー → 53
⓭ ● (録音) / → 53
S.TITLE → 26
■ (停止) / → 22
AUTO/MONO キー → 20
II (一時停止) キー → 22
► (再生) キー → 22
⓮ ◄◄ / ►► (サーチ)キー/ → 23
TUNE(同調)キー/ → 20
TV. VOLUME キー → 53
I◄◄/►►I (スキップ)キー/ → 23
P.CALL キー → 20
/THUM/PAGE キー → 53
⓯ POWER キー → 17
⓰ DEVICE 電源キー → 49
⓱ TV INPUT キー → 53
⓲ LSTN MODE → 18 → 45
⓳ SOUND / SETUP キー → 19 → 46
⓴ INPUT MODE/RANDOM キー → 48 → 30
㉑ VOLUME キー → 17
㉒ MENU キー → 38
㉓ ON SCREEN キー → 24
㉔ SLOW/JUMP キー → 23 → 53
STEP キー → 23
B.BOOST キー → 18
CINE.EQ キー → 19

電池の入れかた

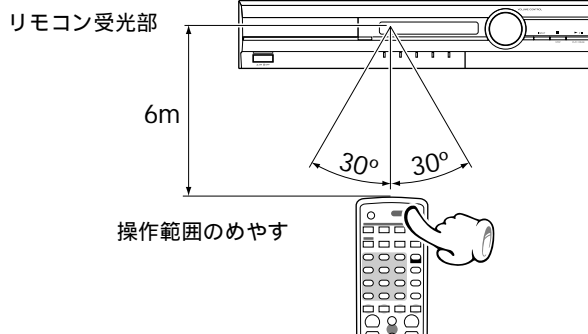
❶ 電池カバーをはずす

❷ 乾電池を入れる

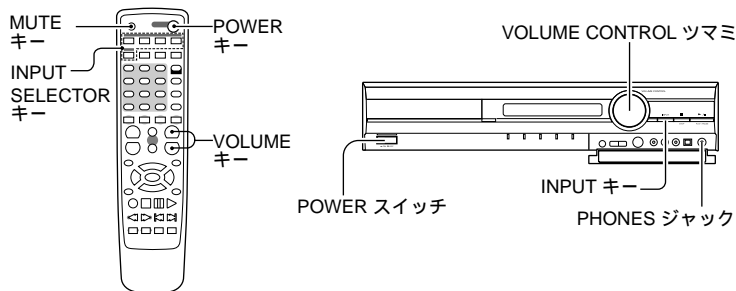
- 単四アルカリ乾電池(LR03)2本を極性表示に合わせて入れる。

❸ 電池カバーをする

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、本体の**POWER**スイッチを**ON**にし、リモコンの**POWER**キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。
電源をオフにするときは、再度**POWER**キーを押します。時刻表示のみのスタンバイ状態になります。

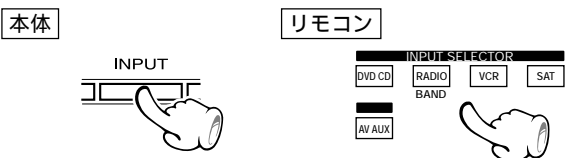
- **リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約１秒以上の間隔をあけて確実に押してください。**

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、２個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、 誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

準備

- 本体のPOWER スイッチを ON (▬) にします。

基本的なつかいかた

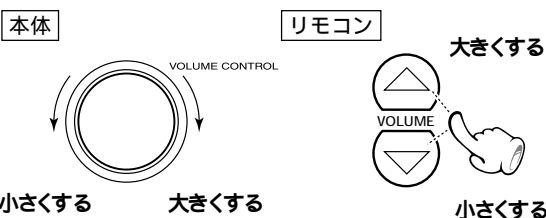
1 入力を選ぶ

本体

リモコン

本体の **INPUT** キーを押すごとに次のように切り換わります。

① **チューナー (周波数表示)**
② **VCR (VCR/ANL)**
③ ***SAT (SAT/ANL, SAT/COAX または SAT/OPTI)**
④ ***AV AUX (AUX/ANL または AUX/OPTI)**
⑤ **DVD/CD**

*SAT、AV AUXの表示は入力モードの切換によって変化します。

→48

- スタンバイモードの時左のどれかのキーを押すと自動的に電源が入り入力が切り換わります。
- スタンバイモードの時、**EJECT** キー、**PLAY/PAUSE**キー、(**PLAY** キー)、**BAND** キーを押しても電源が入りそれぞれの動作をします。
- ディスクがセットされているとき**DVD CD**キーを押すと、入力が**DVD CD**に切り換わり、ディスクの再生が始まります。

リモコンで操作する場合、始めに操作したい入力、または機器をINPUT SELECTOR キーなどで選んで、次の操作をしてください。リモコンの現在のモードが操作したい機器と一致していない場合があります。

2 音量を調節する

本体

リモコン

Note **SAT またはAV AUXのとき、入力モードが切り換えられます。" 入力モードの切換 "を参照してください。** →48

通常、音量ボリュームが最大になると" **MAX** "と表示されます。**CINE.EQ** が **ON**になっているときは, (→19)," **MAX** "表示はされません。

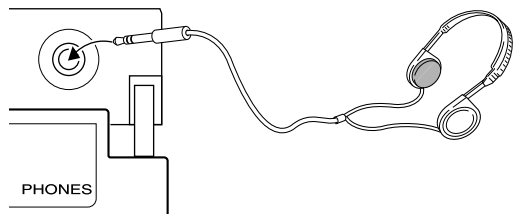
一時的に音を消すとき(ミュート機能)

リモコンのみ

- **MUTE**キーを押します。

- もう一度押すと元の音量に戻ります。
- 音量調節の操作をしてもミュートが解除されます。

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグを本体ドア内のPHONESジャックに挿し込む

本機はいろいろなサラウンドモードに対応していますが、ヘッドホンを挿し込むと、自動的にステレオモードに切り換わります。

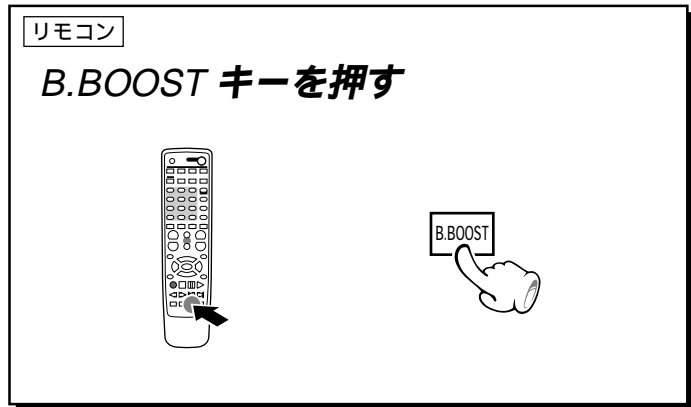
ドアーを開けるときはドアーの右サイドを引きます。

- **ヘッドホンを挿し込むと、スピーカーの音は消えます。**

音質を変えて楽しむ

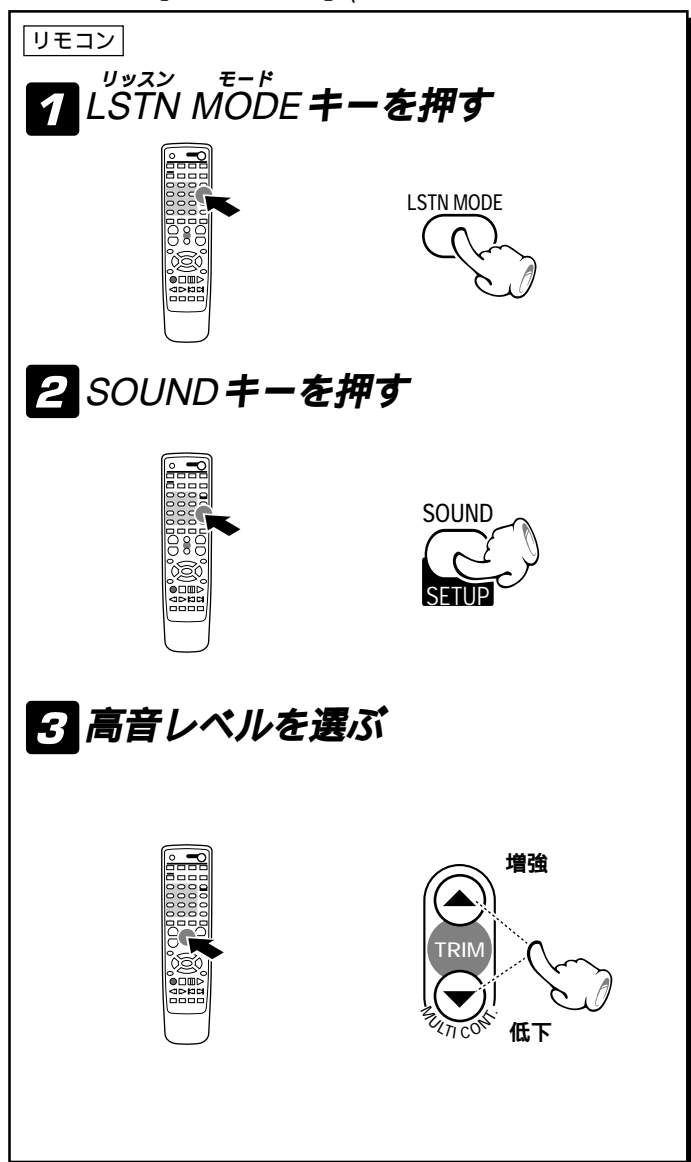
本機はあらかじめいろいろな音質をプリセットしてありますので、再生するソフトに合わせて、さまざまな音響効果を楽しめます。また、ワンタッチで低音を補強するB.BOOST機能も備えています。

B.BOOST

B.BOOST 機能をONにすると低音を豊にして、再生することができます。

キーを押すごとにB.BOOST オン/オフが切り換わります。

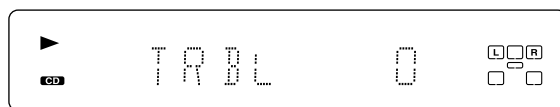
- ❶ B.BOOST 表示点灯
- ❷ B.BOOST 表示消灯

高音調整（TREBLE）（音楽CD 、VCD およびラジオのみ）

リモコン

ステレオモードで操作してください。（高音調整はステレオモードの時のみ調整できます。

1 LSTN MODEキーを押す

2 SOUNDキーを押す

“ TRBL ”と、レベルの表示がでます。

DOLBY DIGITAL と DTS 音源の時は調整できません。

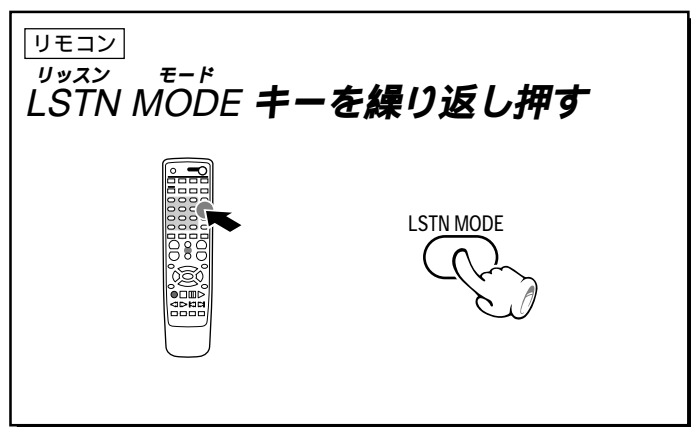
3 高音レベルを選ぶ

キーを押すごとにレベルが変わります。

- 高音レベルは +10 から -10まで調整できます。

操作編

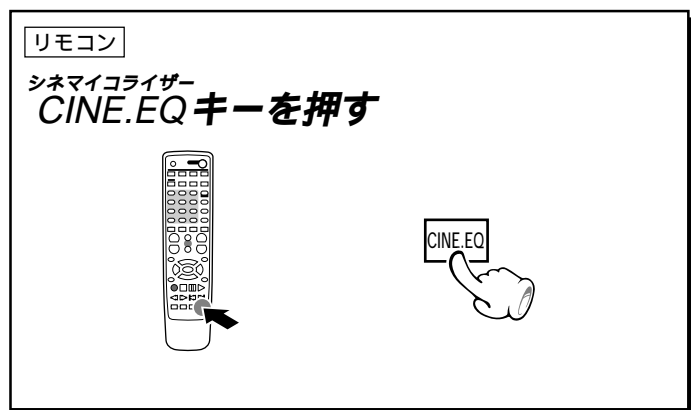
DSPモードを選ぶ

５種類のDSP(デジタル・シグナル・プロセッサー)モードがプリセットされています。
DSPモードはPCM(音楽CD、MP3ファイルなど)音源の時のみ働きます。

キーを押すごとに切り換わります。
(CD再生時)

① DOLBY PL II MOVIE
② DOLBY PL II MUSIC
③ DOLBY PRO LOGIC
④ CIRCLE SURROUND
⑤ ARENA
⑥ JAZZ CLUB
⑦ THEATER
⑧ STADIUM
⑨ DISCO
⑩ STEREO

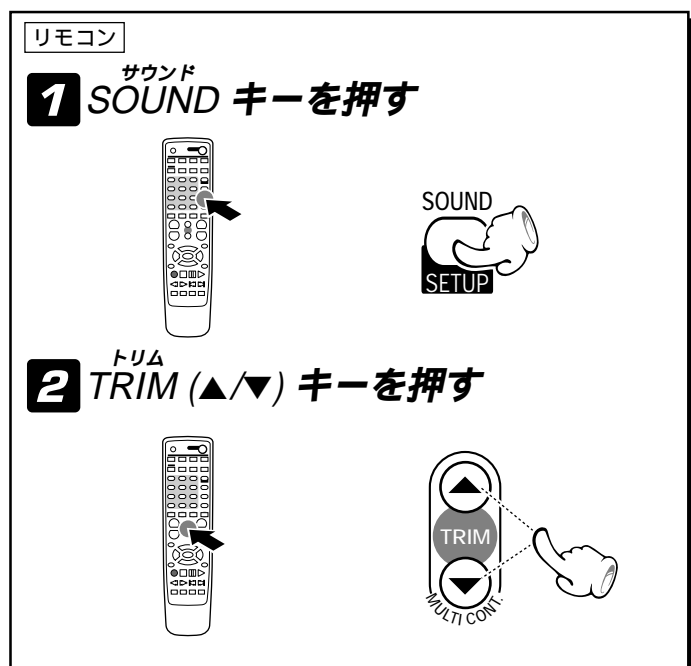
（⑤〜⑨：DSPモード）

CINE.EQ (シネマイコライザー)を選ぶ

映画の再生などに効果を発揮します。

キーを押すごとに切り換わります。

① CINE.EQ
② OFF

NIGHT (ミッドナイト)モードを選ぶ(Dolby Digital のみ)

深夜などで極端な音の変化を望まないときなどに、この機能をオンにすると、極端な音の変化を押さえて聴くことができます。

“ NIGHT OFF ”または“ NIGHT ON ”が表示されます。

キーを押すごとに切り換わります。

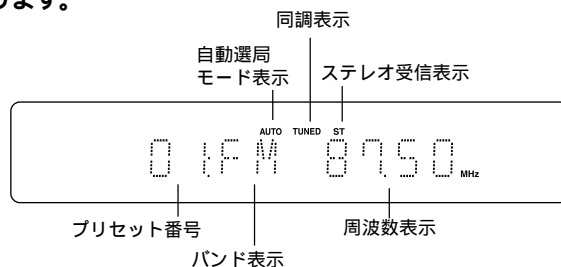
① NIGHT ON
② NIGHT OFF

あらかじめ30局までの放送局をプリセットしてワンタッチで呼び出すこともできます。（→21）

1 TUNER（チューナー）入力を選ぶ

本体 / リモコン

スタンバイ状態の時BANDキーを押すと自動的に動作状態（オン）になります。

2 放送バンドを選ぶ

本体 / リモコン

押すごとにバンドが切り換わります。

① **FM**
② **AM**

3 選局モードを選ぶ

リモコン

AUTO/MONO

押すごとにモードが切り換わります。

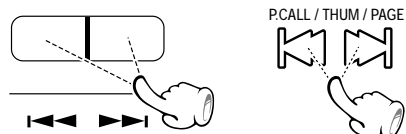
① **自動選局モード**
② **マニアル選局モード**

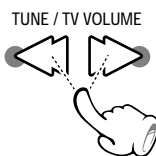
AUTO ― 点灯

AUTO（オート） モードのときTUNE（チューン）キーを押すと放送局を自動的に選局して止まります。ステレオ放送が、十分な強度で受信できるときは自動的にステレオモードになります。

4 放送局を選ぶ

P.CALL（プリセットコール）

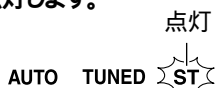
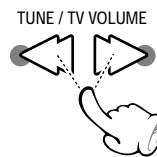
本体 / リモコン

プリセットされた局を選ぶときは|◀◀, ▶▶|キーを押して選びます。押すごとにプリセットされた局が呼び出されます。

AUTO（オート） (自動選局)

リモコン

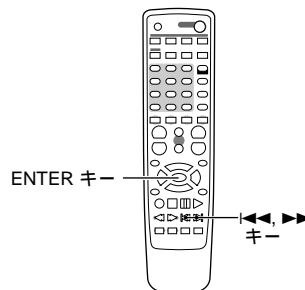
TUNE キーを押すと次の局を自動的に選局して止まります。

ステレオ放送を受信するとST（ステレオ）表示が点灯します。

点灯

AUTO TUNED ST

MANUAL（マニアル）（マニアル選局）

リモコン

キーを押すごとに1ステップずつ周波数が換わります。
キーを押押し続けると周波数が連続して換わります。
電波が弱く雑音が多い場合はマニアル選局をしてください。（マニアル選局モードではステレオ放送をモノラルで受信します。）

放送局を30局までプリセットして(あらかじめ記憶させて)簡単な操作で呼び出すことができます。

放送局を記憶させる(プリセット)

1 放送局を選ぶ(自動選局またはマニアル選局)

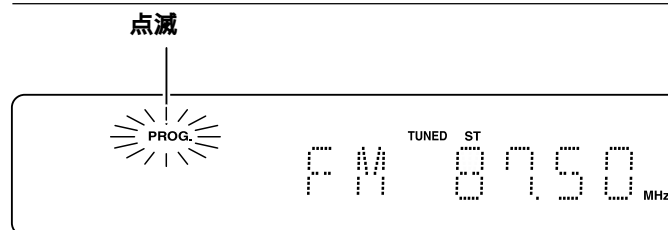
→ 20

FMとAMを混在させてプリセットすることができます。
(例)

01: FM　81.50
02: AM　630
03: FM　88.00

2 ENTER(エンター)キーを押す

リモコン

点滅

表示が点滅している間に次の操作をしてください。

3 保存するプリセット番号を選ぶ

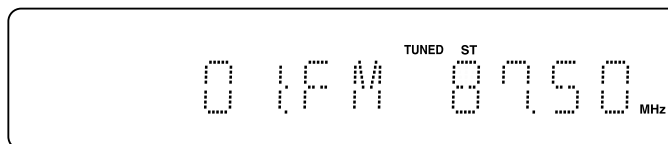
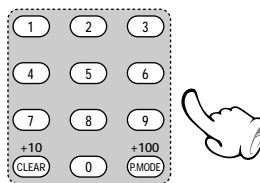
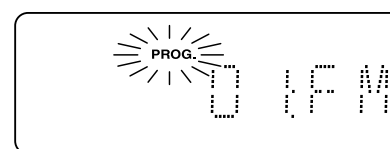
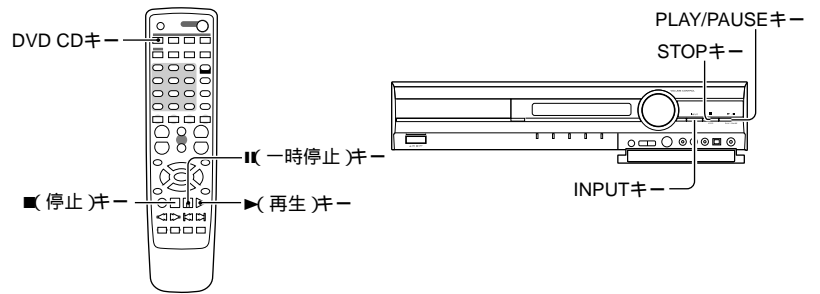
リモコン

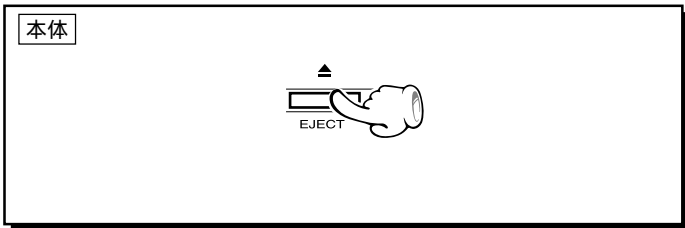
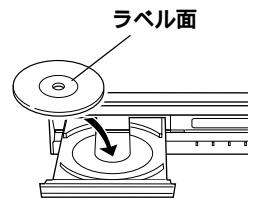
数字キーで番号を入力する場合は、2桁の数字を入力すると、ENTERキーを押さずに確定します。

4 ENTERキーを押す

リモコン

続けて他の局をプリセットする場合は1 から 4 を繰り返す。

操作編

基本的なつかいかた

1 ディスクをセットする

❶トレイを開ける
❷ディスクを置く
❸トレイを閉める

● ステップ❸でEJECT(イジェクト)キーを押す代わりに本体のPLAY(プレイ)/PAUSE(ポーズ)キーを押すとトレイが閉まり、再生が始まります。

2 DVD CDを選ぶ

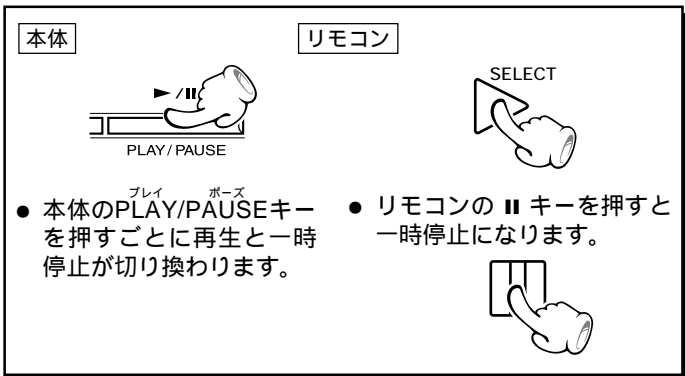
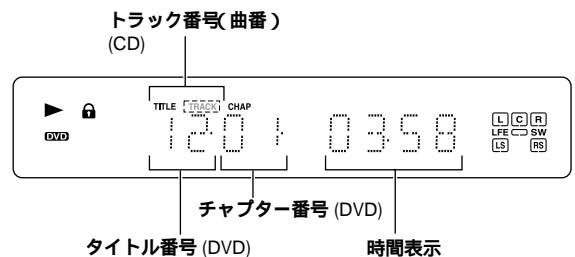
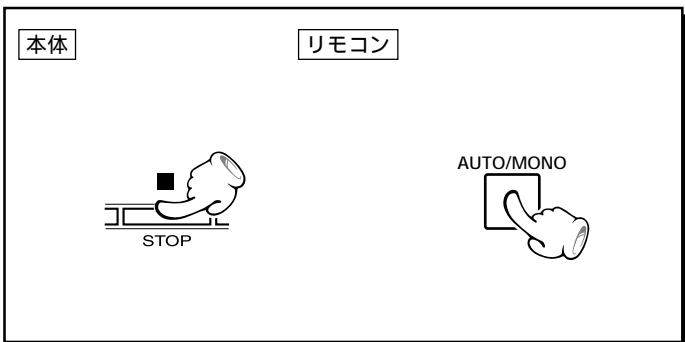
● ディスクがセットされていて**DVD CD**が選ばれると自動的に再生が始まります。

テレビ画面にディスクメニュー画面が表示されたとき
対話型のDVDソフトなどを再生するとディスクメニュー画面が表示されます。この場合はカーソルキーで内容を選んで、**ENTER**(エンター)キーを押します。

ディスクにメニュー画面が記録されている場合、TOP MENUキーを押すとメニュー画面下表示されます。メニュー画面では、カーソルキーでメニューを選ぶことができます。

3 再生を開始する

● 本体のPLAY(プレイ)/PAUSE(ポーズ)キーを押すごとに再生と一時停止が切り換わります。

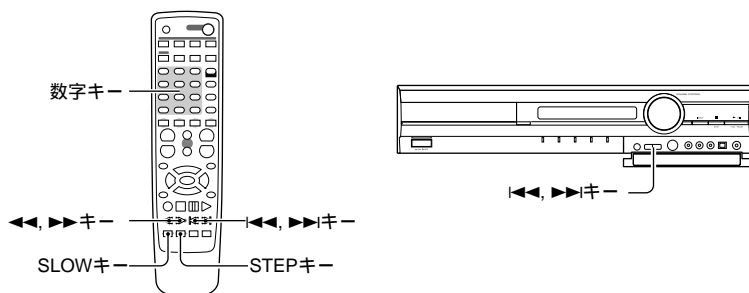
● リモコンの II キーを押すと一時停止になります。

● ディスク以外の入力が選ばれているとき、本体の **PLAY/PAUSE** キーを押すとDVD/CDが選択されて、再生が始まります。

再生を止めるには

リジューム機能について

再生中に停止キー(■)を一回押すと、再生を停止します。このとき停止した位置を記憶しています。次に再生を始めたときは、停止した場所から再生を始めます。この機能をリジューム機能と言います。
停止中にもう一度停止キー(■)を押すとリジュームは解除されます。

リジューム状態で、約5分以上経過すると、リジュームは解除されます。

DVR-7000 (J)

ディスクの色々な再生機能

- **DVD再生で、スキップ、サーチ、スローモーション動作中は、音声は聞こえません。**
- **映画などの始まりの画面などではスキップなどの機能は働きません。**

DVD CD VCD チャプターやトラック(曲)などを飛び越す

- キーを押すごとにチャプターまたはトラック(曲)を飛び越して、選んだチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。
- 再生中に|◀◀キーを1回押すと、そのチャプターまたはトラック(曲)のはじめから再生を開始します。

DVD CD VCD サーチ(早送り、早戻し)

- 再生中に◀◀キーまたは▶▶キーを押します。
- 押すごとにサーチスピードが次のように変わります。

① 2倍速 (F.SEARCH 1)/(R.SEARCH 1)
② 4倍速 (F.SEARCH 2)/(R.SEARCH 2)
③ 8倍速 (F.SEARCH 3)/(R.SEARCH 3)
④ 16倍速 (F.SEARCH 4)/(R.SEARCH 4)

- 通常の再生に戻るときは**PLAY**キーを押します。
- サーチ中、音はでません。

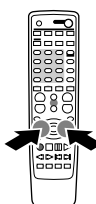
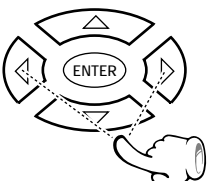
操作編

CD 好きなトラック(曲)から再生する

- 再生したい曲番を選びます。
- 次の例のように番号キーを押します。
  (例)
  曲番 23を選ぶとき：[2] [3]
- CDに収録されている曲番より大きい数値が入力されたときは“ Tr ? ”と表示されます。

DVD VCD STEP(ステップ)(静止/コマ送り再生)

- ◀◀キー、▶▶ キーを押すごとに1コマずつ再生します。
- VCD 再生の時は、後退のコマ送り再生はできません。
- 通常の再生に戻るときは**PLAY**キーを押します。

DVD VCD SLOW(スロー) (スローモーション再生)

- 再生中に**SLOW**キーを押し、◀◀, ▶▶ キーを押します。
- ◀◀, ▶▶キーを押すごとにスローモーションのスピードが切り換わります。

(DVD再生時)

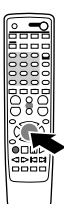
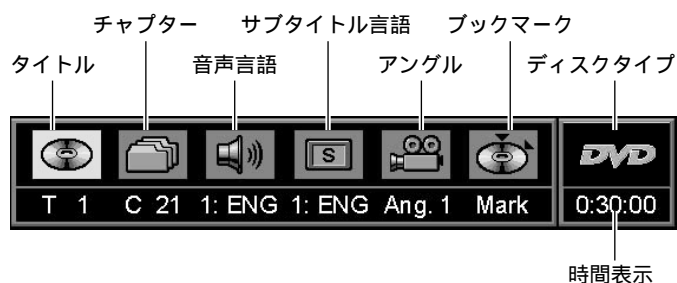
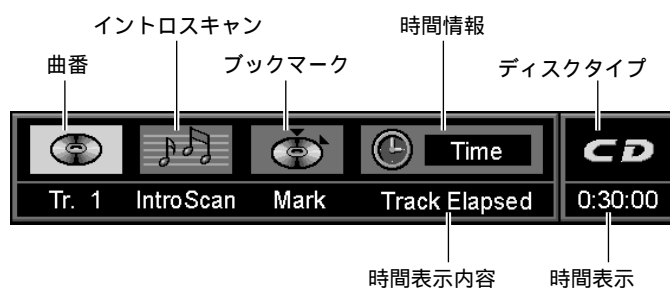
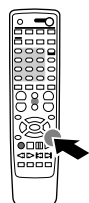
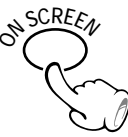
① 1/16倍速 F.SLOW 1/16 (R.SLOW 1/16)
② 1/8倍速 F.SLOW 1/8 (R.SLOW 1/8)
③ 1/4倍速 F.SLOW 1/4 (R.SLOW 1/4)
④ 1/2倍速 F.SLOW 1/2 (R.SLOW 1/2)

(VCD再生時)

① 1/8倍速 F.SLOW 1/8 (R.SLOW はできません)
② 1/4倍速 F.SLOW 1/4 (R.SLOW はできません)
③ 1/2倍速 F.SLOW 1/2 (R.SLOW はできません)

- 通常の再生に戻るときは**PLAY**キーを押します。

テレビ画面を使って操作するには

テレビ画面に表示されるアイコンで、さまざまな再生機能を操作することができます。(オンスクリーンバナー表示)
アイコンを表示させるには、ディスクの再生中に、リモコンのON SCREENキーを押します。アイコンを表示させたあと、カーソルキー(▲、▼、◄、►)で希望のアイコンを選び、ENTERキーで確定します。

DVD再生中

CD/VCD再生中

CD/VCDの時間表示を切り換えるには

❶ カーソルキーで時間情報を選択する。
❷ ENTERキーを押すたびに時間表示が下のように切り換わります。

① Track Elapsed (再生中の曲番の経過時間)
② Track Remain (再生中の曲番の残り時間)
③ Disc Elapsed (再生中のディスクの経過時間)
④ Disc Remain (再生中のディスクの残り時間)

表示を消すには

ON SCREENキーか、またはCLEARキーを押す

メモ

- オンスクリーン機能はディスク再生中のみ働きます。
- ディスクにそれぞれの機能が使えるように設定されていないと使用することができません。(例えば、ディスクにサブタイトルが使えるように設定されていなければ、サブタイトル機能は使えません。)
- キーを押したときに マークが出たときは操作をすることができません。また、アイコンがグレーになっているときはその機能が使えません。

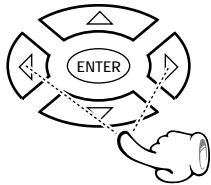
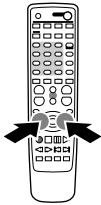
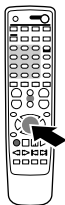
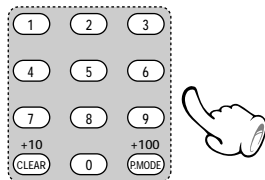
操作編

DVD タイトルを選ぶ

VDのディスクによっては、複数のタイトルを含むものがあります（例えば、1つのディスクに4本の映画を収録している場合に、それぞれタイトルを設定してある場合など）。その場合に、タイトルを指定して選択することができます。

❶ 再生中にリモコンのON SCREEN（オンスクリーン）キーを押す。

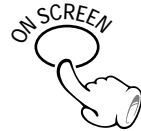
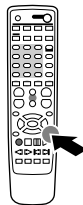
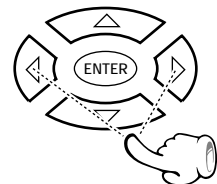
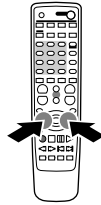
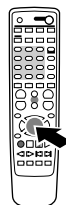
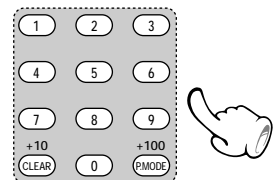
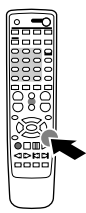
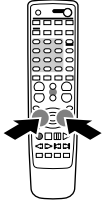
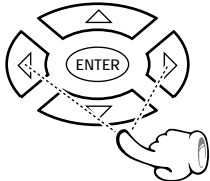
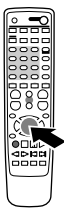
❷ カーソル左右キー（◄/►）を押して、タイトルアイコンを反転させる。

❸ ENTER（エンター）キーを押す。（“ T__ ”表示）

❹ 数字キーを使って、タイトル番号を入力する。

1桁だけ入力したときは、ENTERキーを押してください。または、はじめに“ 0 ”を押して、数字を押すとそのタイトルからスタートします。桁数は再生中のディスクに含まれるタイトル数に依存します。

多くのディスクでは、1枚のディスクは1つのTITLE（タイトル）で構成されています。

DVD CD VCD チャプター、トラックを選ぶ

通常、DVDディスクではCDのトラックのように1つのタイトルの中を複数のチャプターに分けてあります。オンスクリーン表示を使って、DVDのチャプターや、CD、VCDのトラック（曲番）を選ぶことができます。

❶ 再生中にリモコンのON SCREEN キーを押す。

❷ カーソル左右キー（◄/►）を押して、チャプターまたはトラックアイコンを反転させる。

❸ ENTERキーを押す。（“ C__ ”または“ Tr__ ”表示）

❹ 数字キーを使って、チャプターまたはトラック番号を入力する。

1桁だけ入力したときは、ENTERキーを押してください。または、はじめに“ 0 ”を押して、数字を押すとそのチャプターまたはトラック番号からスタートします。桁数は再生中のディスクに含まれるチャプターまたはトラック数に依存します。

再生中ののディスクがチャプターに分けられていない場合は動作しません。

VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。 → 33

DVD 音声の言語を切り換える

ディスクの音声が複数の言語で作られている場合は、そのディスクの音声言語を切り換えて聞くことができます。

テレビ画面表示を使う

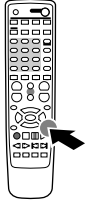
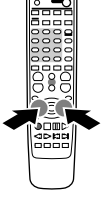
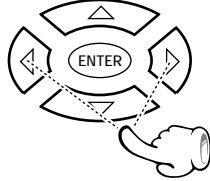
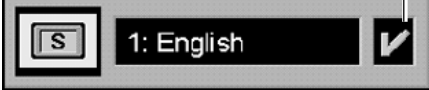
❶ 再生中にリモコンのON SCREEN（オンスクリーン）キーを押す。

❷ カーソル左右キー（◄/►）を押して、音声アイコンを反転させる。

❸ ENTER（エンター）キーを押す。

音声メニュー表示

❹ ENTERキーを押して、音声言語を選択する。

● 約5秒間操作をしないと音声メニュー表示は消えます。

1. ディスクが多言語の音声に対応している場合のみ働きます。
2. 再生中は「セットアップ機能」で設定した言語に対して、オンスクリーンの操作で選んだ言語が優先します。

DVD サブタイトル（字幕）言語を切り換える

ディスクのサブタイトルが複数の言語で作られている場合は、そのディスクのサブタイトル言語を切り換えることができます。

テレビ画面表示を使う

❶ 再生中にリモコンのON SCREENキーを押す。

❷ カーソル左右キー（◄/►）を押して、サブタイトルアイコンを反転させる。

❸ ENTER（エンター）キーを押す。

サブタイトル表示

サブタイトルがオンのとき表示

❹ ENTERキーを押して、サブタイトル言語を選択する。

❺ S.TITLE（サブタイトル）キーを押して、サブタイトルのオンまたはオフを選ぶ。

● 約5秒間操作をしないとサブタイトル表示は消えます。

1. ディスクが多言語のサブタイトル に対応している場合のみ働きます。
2. サブタイトルメニューはディスクによって表示されない場合もあります。

操作編

DVD カメラアングルを切り換える

DVDのディスクによっては、特定のシーンで複数のカメラアングルで撮影されている場合があります。その場合はアングルを切り換えて楽しむことができます。1つのアングルしか持たないディスクでは機能しません。

テレビ画面表示を使う

❶ **再生中にリモコンのON SCREEN（オンスクリーン）キーを押す。**

❷ **カーソル左右キー (◄/►) を押して、アングルアイコンを反転させる。**

❸ **ENTER（エンター）キーを押す。**

アングルメニュー表示

❹ **ENTERキーを押してアングルを選ぶ。**

- **約5秒間操作をしないとアングルメニュー表示は消えます。**

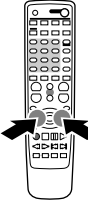
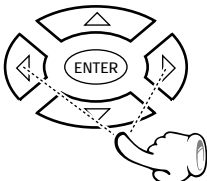
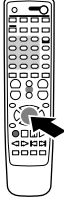
CD VCD イントロスキャン機能を使う

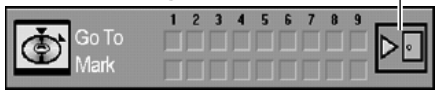
イントロスキャン機能はCDやVCDの各トラックの最初の部分を次々に再生していく機能で、曲を選ぶときなどに便利です。

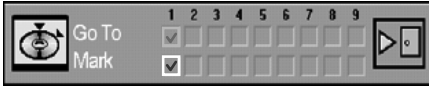
テレビ画面表示を使う

❶ **再生中にリモコンのON SCREEN キーを押す。**

❷ **カーソル左右キー (◄/►) を押して、イントロスキャンアイコンを反転させる。**

- **それぞれのトラックのはじめの10秒間を再生します。**
- **すべてのトラックをイントロスキャンし終わると停止します。**
- **イントロスキャンを途中で中止する場合は、リモコンのENTER キーを押します。（そのときのトラックから通常再生をします。）（テレビ画面表示が消えているときはON SCREENキーを押し、イントロスキャンを選んでからENTERキーを押します）**

VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。 → 33

DVD CD VCD ブックマーク機能を使う

ブックマーク(しおり)をつけておくと、すぐにその場所に飛び越すことができます。ブックマークは9ヶ所まで付けられます。

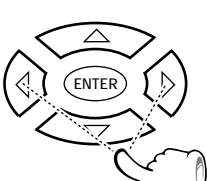
ブックマークを付ける

❶ 再生中にリモコンのON SCREEN キーを押す。

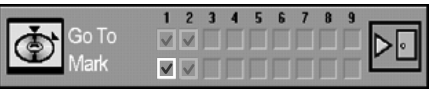
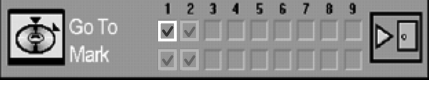
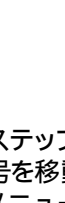
❷ カーソル左右キー (◄/►) を押して、ブックマークアイコンを反転させる。

❸ ENTERキーを押す。

❹ マークを付けたいシーンでENTERキーを押す。

四角い枠にブックマークが表示されます。

- **メニュー画面を消すときはON SCREENキーまたはCLEARキーを押します。**

ブックマークを取り消す。

- **ディスクを取り出すか、または電源をオフにするとブックマークが取り消されます。**

- **9ヶ所以上ブックマークを付けたときは、前に付けたマークが消されます。**
- **ディスクによってはブックマーク機能が働かないディスクもあります。**
- **VCD(ビデオCD)でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。** →33

マークをした場面に飛び越す

❶ 再生中にリモコンのON SCREEN キーを押す。

❷ カーソル左右キー (◄/►) を押して、ブックマークアイコンを反転させる。

❸ ENTERキーを押す。

四角い枠にブックマークが表示されます。

❹ リモコンのカーソル(上) (▲) キーを押して、ブックマークメニューの上の部分に移動する。

❺ リモコンのカーソル左右 (◄/►)キーを押して、望みのブックマーク上に移動する。

❻ ENTER キーを押して、ブックマークをしたシーンに飛び越す。

- **ステップ❺で数字キー(0〜9)を押して、ブックマーク番号を移動することができます。**
- **メニュー画面を消すときはON SCREENキーまたはCLEARキーを押します。**

DVD CD VCD リピート機能

選んだタイトルまたはディスクの中で、繰り返し再生することができます。3通りのリピート機能を選べます。

- **Repeat Disc:ディスク全体を繰り返し再生。**
- **Repeat Title:再生中のタイトルを繰り返し再生。**
- **Repeat Chapter 再生中のチャプターを繰り返し再生。**
- **Repeat Track: 再生中のトラックを繰り返し再生。**

❶ 再生中にリモコンのREPEATキーを押す。

REPEAT（リピート）の表示がでます。

押すごとにリピートモードが切り換わります。

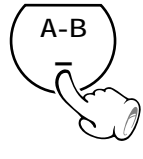
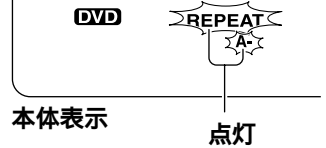
REPEATキーを押すごとに次のようにテレビ画面表示されます。

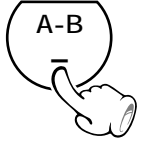
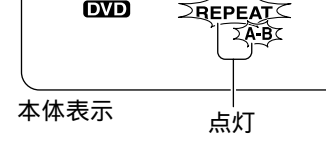
DVD再生時

① Repeat Disc
② Repeat Title
③ Repeat Chapter
④ Repeat Off（解除）

CD/VCD再生時

① Repeat Disc
② Repeat Track
③ Repeat Off（解除）

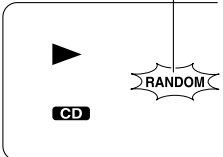
- **リピート再生を解除するときは REPEATキーを押し、"Repeat Off"を選びます。**
- **約5秒間操作をしないとテレビ画面のリピート表示は消えます。**

VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。 →33

DVD CD VCD A-Bリピート再生

A-Bリピート機能は好みの区間を繰り返し再生します。リピート開始部分のA部から終了部のB部までを繰り返し再生します。

❶ 再生中リピートを開始したい場所でリモコンのA-Bキーを押す。

❷ リピートを終了したい場所でA-Bキーを押します。

- **A-Bリピート再生を解除するときは A-Bキーを押し、"Repeat Off"を選びます。**
- **約5秒間操作をしないとテレビ画面のリピート表示は消えます。**

VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。 →33

CD VCD ランダム再生

再生中のディスクのトラックを順不同に再生します。

- **約5秒間操作をしないとテレビ画面のランダムプレイ表示は消えます。**

メモ
- **DVDディスクではランダムプレイはできません。**
- **VCD（ビデオCD）でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。** →33

- 再生中にRANDOMキーを押すとディスクの曲を順不同に選んで全曲再生します。
- ディスクの全曲を再生し終わると、停止状態になり、ランダムモードは解除されます。

プログラム再生

再生中のディスクのチャプターまたはトラックを好きな順にプログラムして再生することができます。

プログラムの記録と再生

ディスクをトレイにセットした後、PLAY(プレイ)キーを押して、本機がディスクの情報を読みとり、“READIND(リーディング)”表示が消えたのちSTOP(ストップ)キーを押して、停止させます。(ディスク情報を読みとった後再度トレイを開閉したときは、もう一度上記の操作をしてください。

プログラムをする

❶ 停止中にリモコンのP.MODE(プログラムモード) キーを押す。

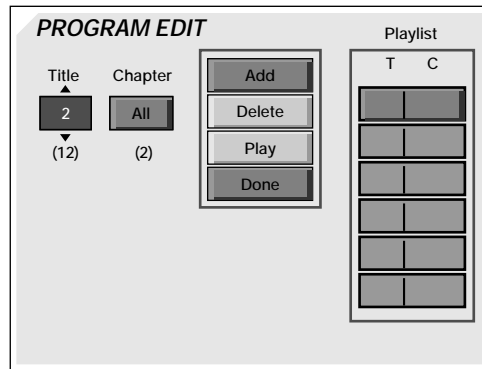
❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押すか、または数字キーでチャプターまたはトラックを選ぶ。

❸ ENTER(エンター)キーを押す。

❹“ Add(アド) ”アイコンを選んで、ENTERキーを押し、プログラムリストに登録する。

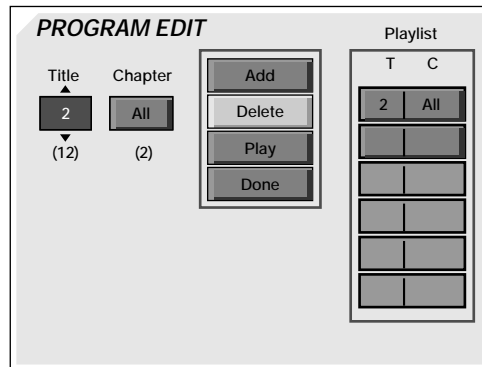
❺ ステップ❷ - ❹を繰り返し、32チャプター(トラック)までプログラムできます。

❻ 再生を開始するにはPLAY(プレイ)(►)キーを押します。

プログラム編集画面表示

(DVDプログラム画面の例)

2 : 選択されたアイコン

: 選べるアイコン

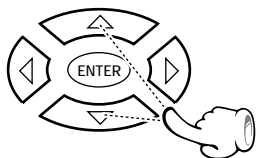
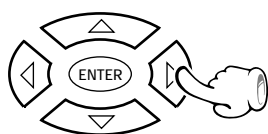
: その時点で選べないアイコン

- プログラム終了時は、“ Done(ダン) ”アイコンを選択して、ENTERキーを押します。
  すぐにプログラム再生する場合は“ Play(プレイ) ”アイコンを選択して、ENTERキーを押します。
- 通常再生中に、もう一度P.MODEキーを押すとプログラム再生をします。
- プログラム再生中に、P.MODEキーを押すと通常再生に戻ります。
- MP3ディスクのプログラムはこの操作ではできません。“ MP3プログラム再生 ”(→37)を参照してください。

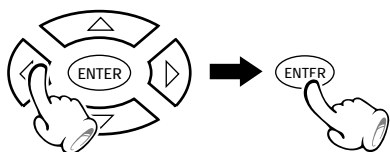
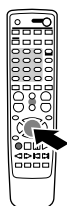
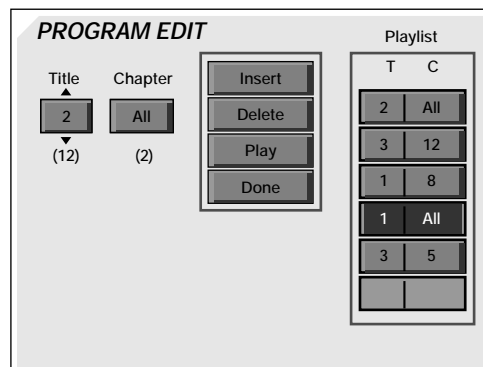
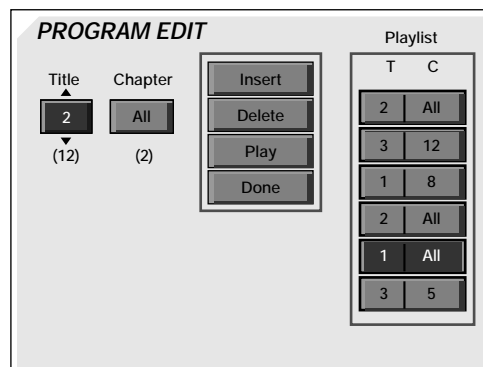
Add(アド)アイコン --- 数値を“ Playlist(プレイリスト) ”に加えます
Delete(デリート)アイコン--- 数値を“ Playlist(プレイリスト) ”から削除します。
Insert(インサート)アイコン--- 数値を“ Playlist(プレイリスト) ”挿入します。
Play(プレイ)アイコン --- プログラム再生をします。
Done(ダン)アイコン ---停止モード、またリジュームモードに戻ります。

操作編

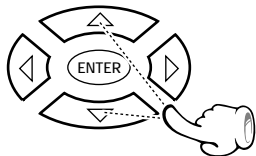
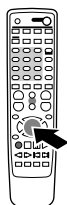
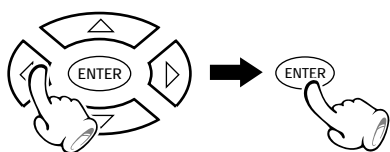
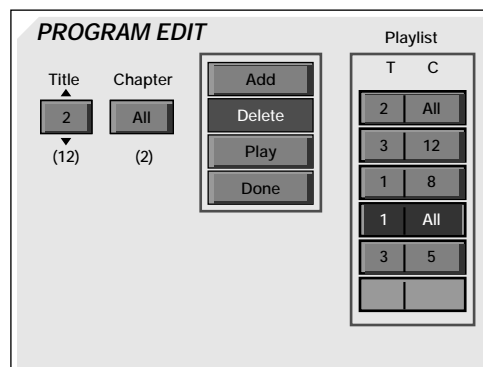
プログラムにチャプター(トラック)を挿入する

停止中にP.MODE(プログラムモード)キーを押してプログラムモードにします。

❶ カーソル上下(▲/▼)キー、または数字キー(0-9)で、挿入したいチャプター(トラック)を選ぶ。

❷ カーソル(右)(▶) キーで"Play list"(プレイリスト) に移動し、カーソル上下(▲/▼)キーで挿入したい欄を選ぶ。

(カーソルの合った欄の色が変わります)

❹ カーソル(左)(◀)キーを押し、カーソル上下(▲/▼)キーで" Insert "アイコンを選んで、ENTERキーを押す。

新しいチャプター(トラック)が、選ばれた欄の上(前)に追加されます。

(DVDプログラム画面の例)

プログラムを消去する

停止中にリモコンのP.MODEキーを押します。

❶ カーソル上下 (▲/▼) キーを押して、"Play list"の削除する欄を選ぶ(カーソルの合った位置の色が変わります)。

❷ カーソル(左) (◀) キーを押し、カーソル上下(▲/▼)キーで" Delete "アイコンを選んで、ENTERキーを押す。またはCLEARキーを押す。

選ばれたチャプター(トラック)が削除されます。

プログラムをすべて取り消すには。

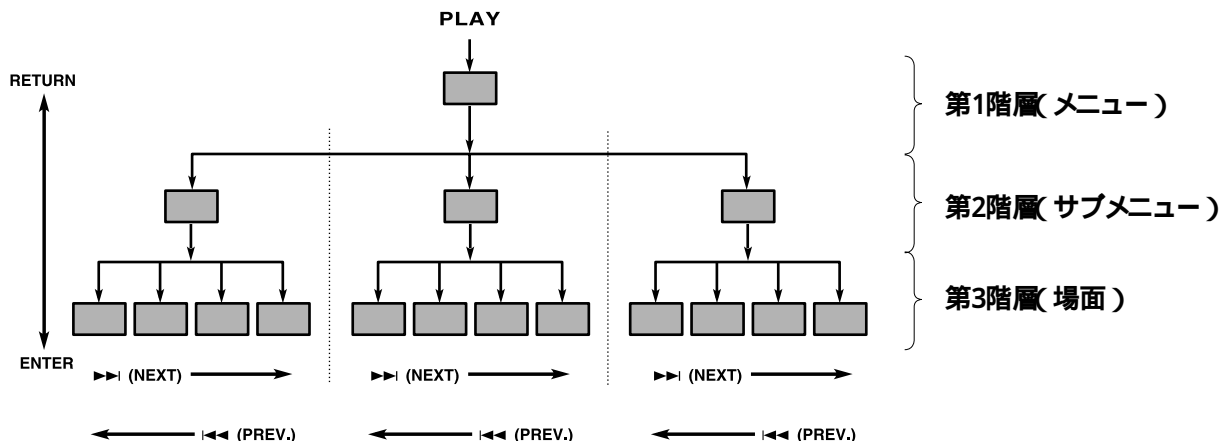
次の場合はプログラムがすべて取り消されます。

1. トレイを開閉したとき。
2. 電源をオン、オフしたとき。

VCD(ビデオCD)でこの機能を使うときはP.B.C.メニュー機能をオフにしてください。 →33

VCDメニューの階層構造について

メニュー画面の含まれている、P.B.C.付きVCD（ビデオCD）を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが段階的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例

進むとき

カーソルキー（▲/▼/◄/►）、または数字キーを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層メニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

● 各階層で選択可能なメニュー（場面）が複数ある場合は、►►ı（NEXT（ネクスト））、ı◄◄（PREV（プレビアス））キーで画面の切り換えができます。

戻るとき

RETURN（リターン）キーを押すたびに、一つ上の階層のメニューへ戻っていきます。

VCD再生時に使われる主な操作キーと表示例

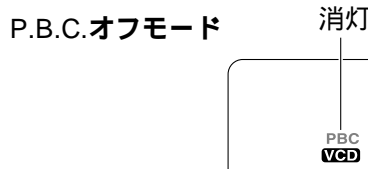
ソフトジャケットの表示	►	↶●	ı◄◄	►►ı
KENWOODの操作キー	►、►/II	RETURN	ı◄◄	►►ı

ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

P.B.C.機能付きVCDで、メニュー再生機能を使わない再生（P.B.C.メニュー機能オン/オフ）をするには

リモコンのTOP（トップ） MENU（メニュー）キーを押す

● トラック番号は、ディスクのジャケットなどを参照してください。
● P.B.C. オフモード：メニュー再生機能を使わない再生。

P.B.C.オフモード

メニュー再生（P.B.C.メニュー機能オン）に戻すには

TOP MENUキーをもう一度押します。

P.B.C.オンモード

MP3の手引き

本機で再生できるメディアについて

使用できるメディア　　：CD-ROM、CD-R、CD-RW
使用できるフォーマット：ISO9660 level 1
再生できるファイル　　：MP3ファイル

本機で再生するメディアの作成について

MP3ファイルに圧縮するとき

MP3ファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください。
MP3ファイル　　　：推奨128kbps（32kbps〜320kbps）

- **本機は、32kHz、44.1kHz（推奨）、48kHzのサンプリング周波数に対応しています。**

ファイル名や、フォルダー名を付けるとき

ファイル名は、半角英字のA〜Z、半角数字の0〜9、半角の_（アンダースコア）を使って付けます。
ファイル名には、必ず“.MP3”の拡張子を付けます

- **MP3以外のファイルにMP3の拡張子を付けないでください。本機で再生できるファイルと誤認識され、大きな雑音が出てヘッドホンが破損したり耳に悪い影響を与える恐れがあります。**

メディアとファイルの確認

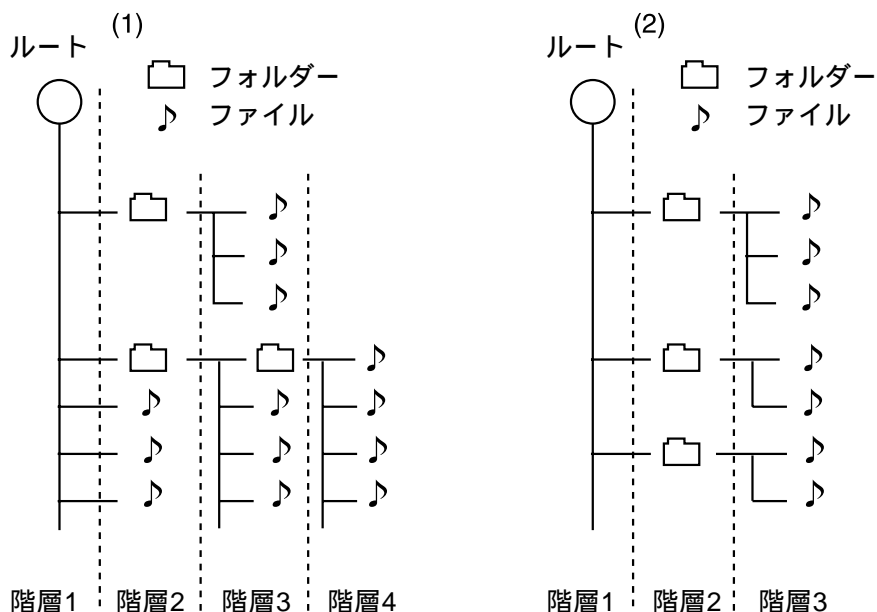
MP3ファイルをメディアに書き込む前に、書き込みをするパソコンでそれぞれのファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込まれたファイルは正しく再生されることを確認してください。

- **メディアに書き込んでいる途中に、ファイルが正しく再生されることを確認することはできません。**

メディアに書き込むとき

書き込んだメディアは必ずセッションクローズまたはファイナライズをしてください。セッションクローズまたはファイナライズされていないメディアを本機で再生すると、正しく再生できない場合があります。

- **書き込みソフトによっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。**
- **本機で再生するMP3以外のファイルやフォルダなどを書き込まないようにしてください。**
- **MP3ファイルをメディアに書き込むときは、10セッション以内で書き込むことをおすすめします。**
- **マルチセッションディスクの再生が始まるまで、時間がかかることがあります。**
- **MP3のファイル（CD-ROM）と音楽CD情報（CD-DA）を1枚のメディアに書き込むと再生できない場合があります。**

階層構造の例

MP3 テレビ画面表示

MP3ディスクを再生するとMP3テレビ画面表示がでます。

メモ

フォルダー名とファイル名は半角で8文字まで表示されます。8文字以上記録されている場合は短縮されて表示されます。

MP3ファイルの再生

- **ディスクの限度を超えた数のファイルやフォルダーの再生はできません。（223まで）**
- **ディスクの情報を読み取って、再生が始まるまで多少時間がかかることがあります。**
- **ファイルは、書き込まれた順に再生されます。**

再生

▶/IIキーを押す。
（MP3のディスクをセットしたときは自動的に再生が始まります。）

本体　リモコン

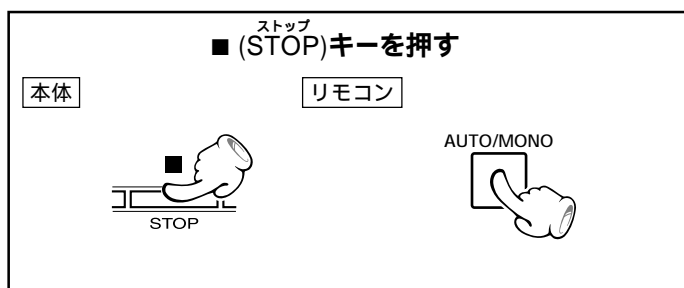
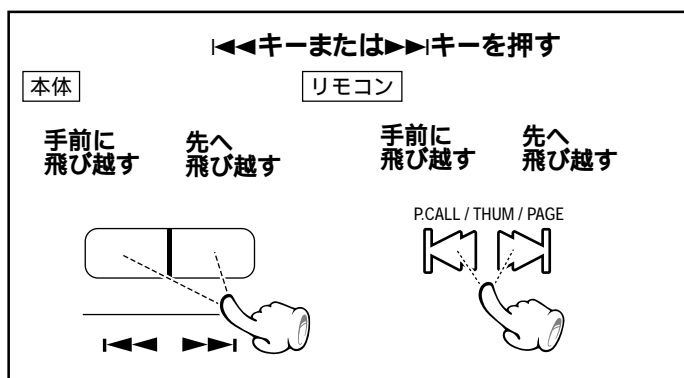
再生を止めるには

■（STOP）キーを押す

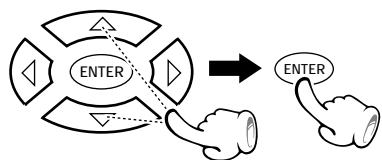
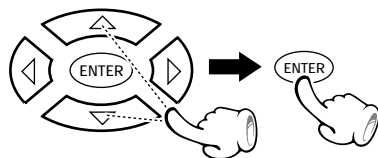
本体　リモコン

ファイルを飛び越す

|◀◀キーまたは▶▶|キーを押す

本体　リモコン

手前に飛び越す　先へ飛び越す　手前に飛び越す　先へ飛び越す

MP3ファイルまたはフォルダーを選択する

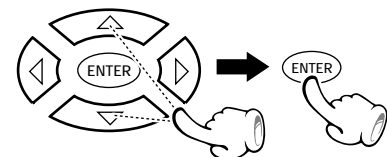
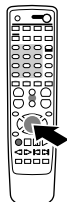
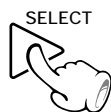
再生するファイルを直に選択する

❶リモコンのカーソル上下(▲/▼) を押して、フォルダーを選択し、ENTER キーを押す。

❷リモコンのカーソル上下(▲/▼) を押して、ファイルを選択し、ENTER キーを押す。

- 選択されたファイルから再生が始まります。
- 選択されたフォルダーに、ファイルがない場合は次のフォルダーのファイルを再生します。

- 選択されたフォルダー内のファイルとフォルダーが表示されます。

- 前の階層に戻るときは、リターンフォルダーアイコンを選択して、ENTERキーを押します。

再生するフォルダーを直接選択する

❶停止中にリモコンのカーソル上下(▲/▼) を押して、フォルダーを選択し、ENTER キーを押す。

❷リモコンのカーソル上下(▲/▼) を押して、上位のフォルダーを選択し、ENTER キーを押す。

- 選択されたフォルダーから再生が始まります。
- 選択されたフォルダーに、ファイルがない場合は次のフォルダーのファイルを再生します。

操作編

MP3 プログラム再生

MP3ファイルを好きな順にプログラムして再生することができます。

プログラムする

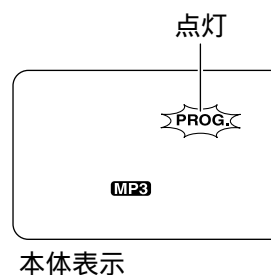
❶ 停止中に、リモコンのP.MODE（プログラムモード） キーを押す。

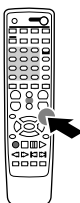
❷ リモコンのカーソル上下(▲/▼) を押して、ファイルを選択し、ENTER（エンター） キーを押す。

- 選択されたファイルが、プログラムウインドーに入ります。
- ステップ❷を繰り返すことによって、130ファイルまでプログラムすることができます。

❸ プログラム再生を開始するときはPLAY（プレイ）キーを押します。

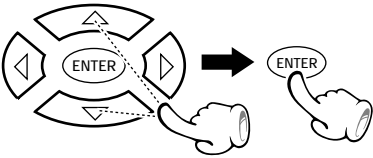
- プログラムは繰り返し再生されます。
- 通常再生に戻るときは P.MODEキーをもう一度押します。

消灯
PROG.

プログラムを削除する

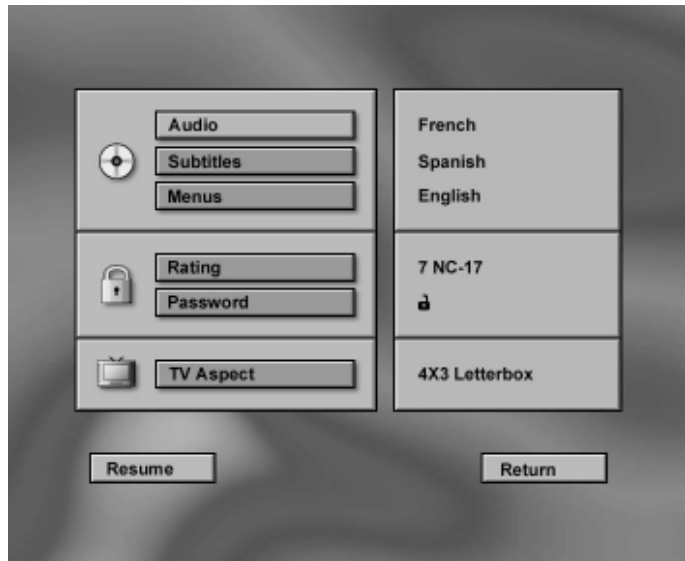
❶ 停止中に、リモコンのカーソル左右 (◄/►) キーを押しALL CLEAR（オール クリアー）(全消去) アイコンを選択し、ENTERキーを押す

- プログラムは消去されます。

- プログラムウインドーから、消去したいファイルを選んで、リモコンのCLEARキーを押すことにより、ファイルを1つずつ消去することもできます。

セットアップメニュー

工場出荷状態の初期設定から設定を変更することができます。

❶ 停止中またはリジューム停止にリモコンの MENU（メニュー）キーを押します。

テレビ画面に現在の設定が表示されます。

❷ リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して、項目を選び、ENTERキーを押して、詳細設定画面に移ります。

（メニュー画面の例）

Audio / Subtitle（オーディオ / サブタイトル）**(ディスク言語)** : ディスクを再生するときの音声や、サブタイトル（字幕）の言語を設定します。（ディスクに選んだ言語が含まれていない場合は、ディスクの基本言語で再生されます。

Menus（メニュー） : テレビ画面表示（オンスクリーンバナー表示など）の言語を設定します。

Rating（レイティング） : 未成年に見せたくないDVDソフトなどの再生を制限する機能で、レベルを設定します。
DVDソフト自身に、制限するレベルの設定がされていない場合は再生の制限はできません。

Password（パスワード） : レイティングのレベルの設定や、解除などのためのパスワードの設定をします。

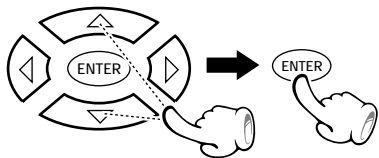
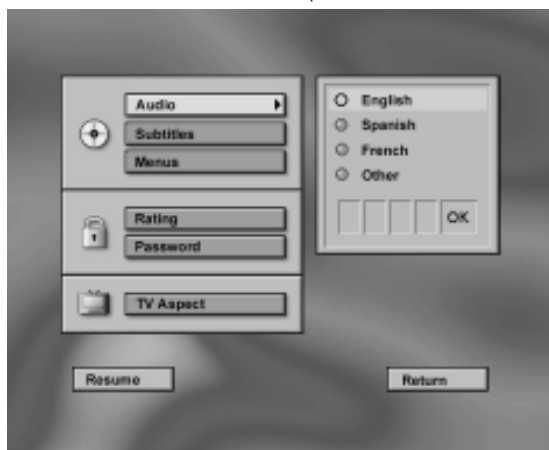
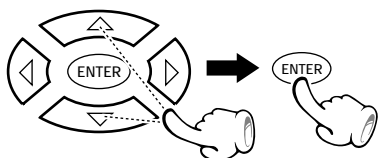
TV Aspect（アスペクト） : 使用するテレビに合わせてスクリーンサイズを設定します。(4:3 または 16:9 の縦横比) 。

- 4 x 3 letterbox（レターボックス） : 映画の縦横比のままの画面で見る場合に設定します。この場合画面の上下に黒い部分が残ります。
- 4 x 3 Pan Scan（パンスキャン） : テレビ画面いっぱいに映画を見たい場合に設定します。映画の左右が切れて映ります。
  この形式に適合しないディスクもあります。その場合は上下に黒い部分が残ります。
- 16 x 9 Widescreen（ワイドスクリーン） : ワイドテレビに接続した場合に選択します。

RETURN（リターン）キーの使いかた

メニュー画面などで、RETURNキーを押すと手前の画面（通常停止モード）に戻ります。

DVD 音声言語を選ぶ

❶セットアップメニュー画面で、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)キーを押して、Audio(オーディオ)を選び、ENTER(エンター)キーを押す。

(オーディオメニュー表示)

❷リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押して音声言語を選び、ENTERキーを押す。

その他の言語を選ぶとき

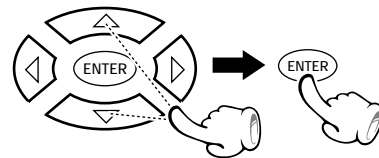
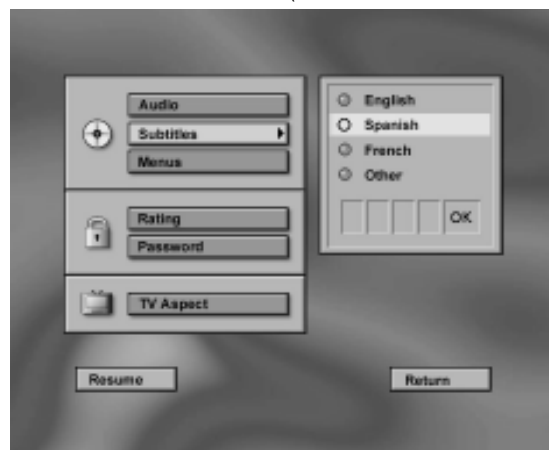
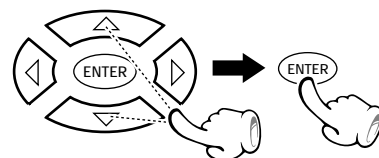
①“ Other ”を選び、ENTERキーを押す

②カーソル上下 (▲/▼) キーまたは数字キーを使って4桁の言語コードを入力する

③ OKアイコンを選びENTERキーを押す
(DVDメニュー言語表」参照 → 54)

● PLAYキーを押して通常再生に戻ります。

DVD サブタイトル言語を選ぶ

❶セットアップメニュー画面で、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)キーを押して、Subtitle(サブタイトル)を選び、ENTER(エンター)キーを押す。

(サブタイトルメニュー画面)

❷リモコンのカーソル上下 (▲/▼) キーを押してサブタイトル(字幕)言語を選び、ENTERキーを押す。

その他の言語を選ぶとき

①“ Other ”を選び、ENTERキーを押す

②カーソル上下 (▲/▼) キーまたは数字キーを使って4桁の言語コードを入力する

③ OKアイコンを選びENTERキーを押す
(DVDメニュー言語表」参照 → 54)

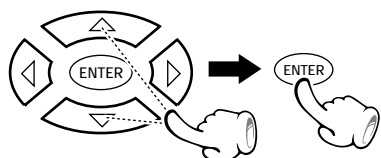
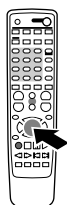
● PLAYキーを押して通常再生に戻ります。

操作編

DVD メニュー言語を選ぶ

❶セットアップメニュー画面で、リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、Menu(メニュー)を選び、ENTER(エンター)キーを押す。

(メニュー画面表示)

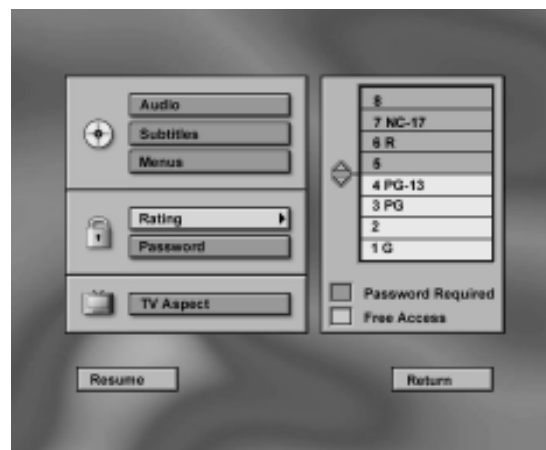
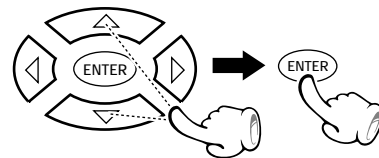
❷リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押してメニュー言語を選び、ENTERキーを押す。

- PLAYキーを押して通常再生に戻ります。

DVD レイティングの選択

未成年に見せたくないソフトなどの再生を制限するレベルの設定をします。

❶セットアップメニュー画面で、リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押して、Rating(レイティング)を選び、ENTER(エンター)キーを押す。

パスワードが設定されている場合はパスワード入力の画面に換わります。その場合はパスワードを入力します。(→41)

(レイティングレベル設定画面)

❷リモコンのカーソル上下(▲/▼)キーを押してレイティングレベルを選び、ENTERキーを押す。

- PLAYキーを押して通常再生に戻ります。

ディスクの再生

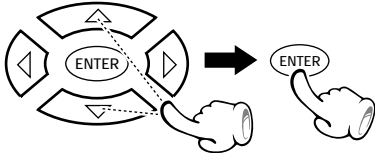
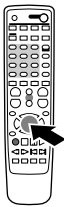
レイティングとパスワード(41ページ参照)が設定されているとき、保護機能に対応したディスクを再生すると、パスワードの入力画面が表示されます。正しいパスワードを入力すると再生可能になります。

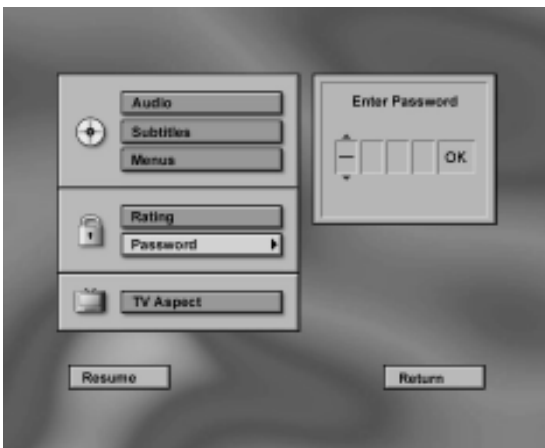
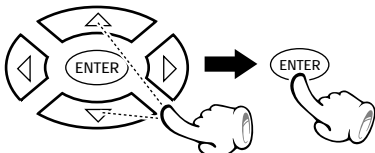
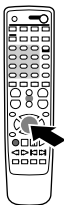
ロックレベル

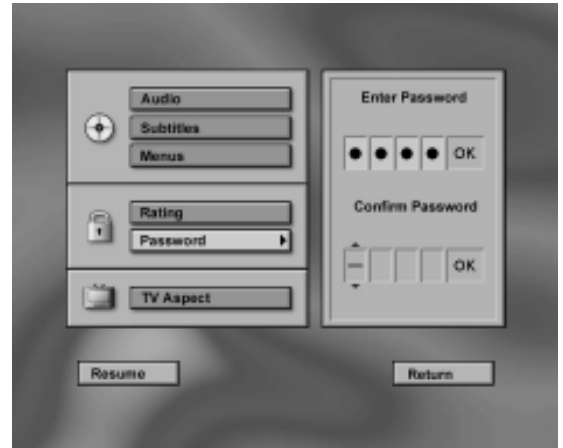
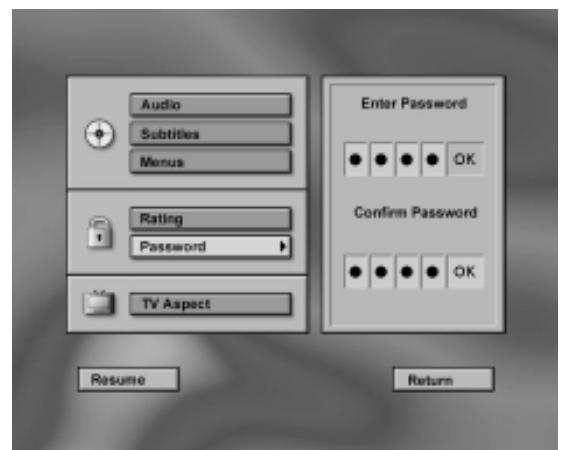
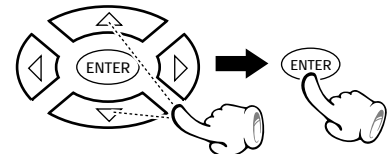
レベル8: 全てのDVDが再生できます。(工場出荷状態)
レベル7 から 2: 通常のDVDは再生できます。(成人向けにレイティング対応されたディスクは禁止されます。)
レベル1: 子供向けDVDは再生できます。(一般向けや、成人向けは禁止されます。)

DVD パスワード

パスワードの入力

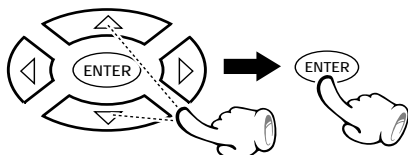
❶セットアップメニュー画面で、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)キーを押して、Password（パスワード）を選び、ENTER（エンター）キーを押す。

(パスワード メニュー画面)

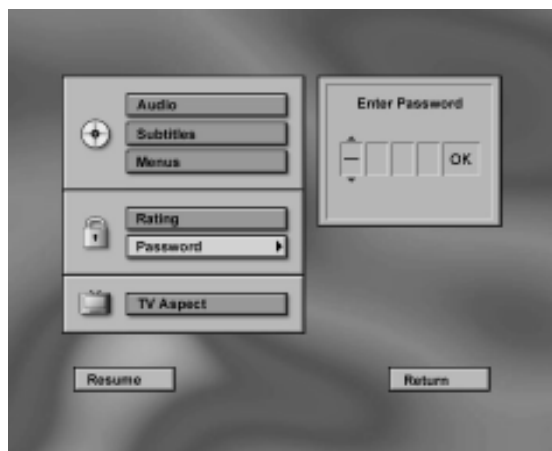
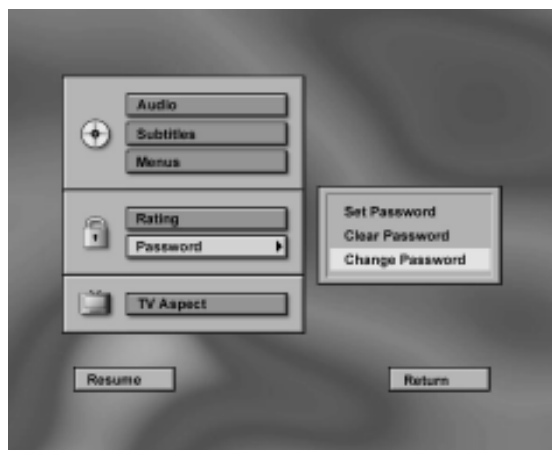
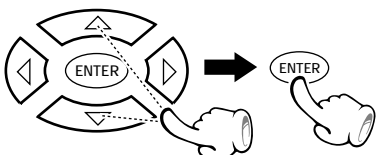
❷“ Set（セット） Password ”を選択して、ENTERキーを押す。

❸カーソル上下 (▲/▼) キーまたは数字キーを押して、パスワードを入力する。

❹ENTER キーを押してパスワード入力を終える(パスワードを確認する画面が下に表示されます)。

❺カーソル上下 (▲/▼) キーまたは数字キーを押して、もう一度パスワードを入力して、ENTERキーを押す。

❻OKを選んでENTERキーを押す。

● PLAYキーを押して通常再生に戻ります。

DVD パスワード(つづき)

パスワードを変更する

❶ セットアップメニュー画面で、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)キーを押して、Passwordを選び、ENTERキーを押す。

(パスワードメニュー画面)

❷ カーソル上下 (▲/▼) キーまたは数字キーを押して、パスワードを入力する。OKを選択してENTERキーを押す。

❸、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)キーを押して、Change Passwordを選び、ENTERキーを押す。

❹ カーソル上下 (▲/▼) キーまたは数字キーを押して、パスワードを入力する。

❺ ENTER キーを押してパスワード入力を終える(パスワードを確認する画面が下に表示されます)。

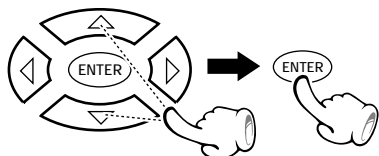
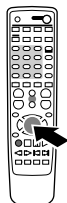
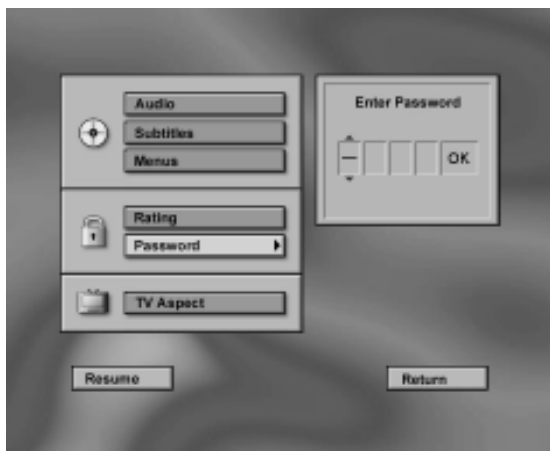
❻ カーソル上下 (▲/▼) キーまたは数字キーを押して、もう一度パスワードを入力して、ENTERキーを押す。

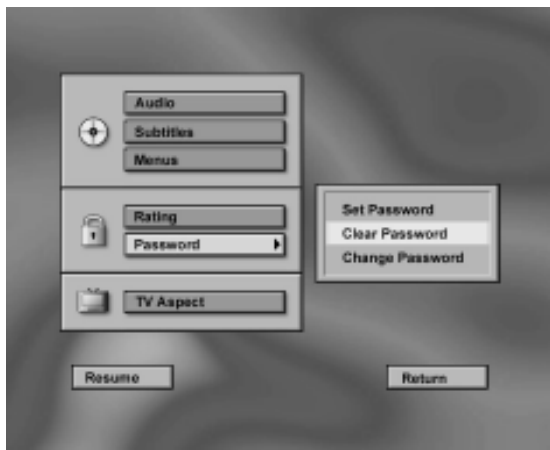
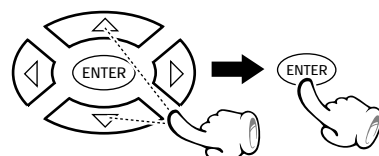
❼ OKを選んでENTERキーを押す。

- PLAYキーを押して通常再生に戻ります。

操作編

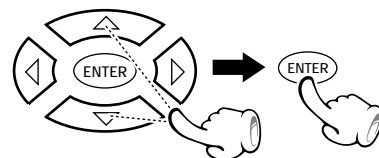
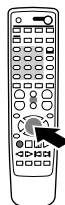
DVD パスワード(つづき)

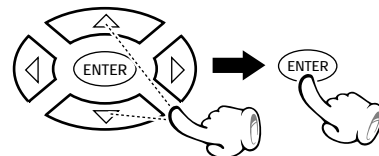
パスワードを削除する

❶ セットアップ メニュー画面で、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)キーを押して、Password(パスワード)を選び、ENTER(エンター)キーを押す。

(パスワード メニュー画面)

❷ カーソル上下 (▲/▼) キーまたは数字キーを押して、パスワードを入力する。OKを選択してENTERキーを押す。

❸、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)キーを押して、Clear(クリアー) Passwordを選び、ENTERキーを押す。

- PLAYキーを押して通常再生に戻ります。

DVD TVアスペクト

❶ セットアップ メニュー画面で、リモコンのカーソル上下 (▲/▼)キーを押して、TV Aspect(アスペクト)を選び、ENTER(エンター)キーを押す。

(TVアスペクトメニュー表示)

❷ カーソル上下 (▲/▼) キーを押して、テレビ縦横比を選択してENTERキーを押す。

- PLAYキーを押して通常再生に戻ります。

LISTEN モードとは

本機は、さまざまなプログラムソースに対応した、サラウンドモードを備えており、ホームシアターとしてお楽しみ頂けます。サラウンドモードはそれぞれマルチチャンネルに対応していますが、方式によって内容が異なります。

● **Dolby Digital：**ドルビーデジタルは、映画館のデジタルサラウンドサウンド技術に基づいたエンコード／デコード処理を利用しています。5つのメイン チャンネルはフル周波数の独立したチャンネルであり、映画のようにリスナーを完全に包み込むような奥行きのあるサウンドを再生します。
Dolby Digitalは**Dolby Pro Logic**と比較するとより明瞭で大きなサラウンド環境、そしてよりリアルなチャンネル間でのサウンド移動を実現しています。

● **Dolby Pro Logic / Dolby Pro Logic II：**Dolby Pro Logic（ドルビープロロジック）は、Dolby Surroundエンコードされたソース（Dolby Surroundロゴの付けられたビデオテープやレーザーディスクソフトなど）から映画館のようなサラウンドサウンドを再生するための再生方法です。フロント部全体での優れたサウンドの移動と、映画館に居るようなサラウンドの雰囲気を再生することができます。
またDolby Pro Logic II はDolby Pro Logicをさらに進化させた新しいデコード技術です。2チャンネルのDolby Surroundプログラムソースからサラウンドチャンネルを左右独立チャンネルとした5.1チャンネルで再生することができます。Dolby Pro Logic II はMOVIEモードとMUSICモードを持ち、さらにMUSICモードはPanorama mode、Dimension、Center Widthの3つのパラメーターをそれぞれ調整することができます。

● **DTS：**DTSは、5つのフル周波数チャンネルで映画館のような効果を作りだします。ある場所から他の場所にズーム移動したり、またはリスナーを完全に取り囲むサウンドが再生できます。**DTS**は、**Dolby Digital**と同様、**Dolby Pro Logic**よりもはるかに改善された明瞭度とサラウンドやサウンド移動性を備えています。このモードはCD、LD、DVDソフトで利用できます。**DTS**は完全に対応しているCD、LD またはDVDプレーヤーでのみ再生できます。

● **DSP：**DSP（Digital Signal Processor、デジタル信号処理）は、あらかじめ設定された、5つの会場の雰囲気を再現してライブ会場の雰囲気を楽しむことができる機能です(ドルビーデジタル、DTSを除く)。ARENA（アリーナ）、JAZZ CLUB（ジャズ クラブ）、CATHEDRAL（カテドラル）、THEATER（シアター）、STADIUM（スタジアム）またはDISCO（ディスコ）のうちどれかを選択することができます。

● **CS5.1 ch:** Circle Surround System （サークルサラウンドシステム）は マトリックスサラウンドシステムの中では、もっとも高い音響効果を得られます。他のマルチチャンネルシステムは、オーディオに焦点を当てていないため、微妙に妥協する部分もあります。サークルサラウンドは、音楽だけでなく、映画や、ホームシアター、マルチチャンネル放送、ビデオテープその他のタイプのソースにも高い効果を発揮するように作られています。

● **Stereo:** ステレオ方式は、左右のスピーカーから通常のステレオサウンドを再生します。

Dolby Pro Logic II: Music（ドルビープロロジックIIミュージック）モードについて

Panorama mode : フロントステレオのイメージをサラウンドスピーカーに広げて、包み込むようなサウンド環境を作ります。（パノラマモードを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、SOUND キーを押します。 PANO R OFF または ONが表示されますので、TRIM (▲/▼) キーを押してONまたはOFFを選択します。

Dimension : 前後の音量バランスをフロント（前方）2ステップ、リアー（後方）2ステップの範囲で調整できます。サラウンド効果が強すぎると感じるときはフロント側に調整します。サラウンド効果が少ないと感じるときはバック側に調整します（ディメンジョンを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、SOUND キーを2回押します。 DIMEN 0 （またはFまたはRと数値）が表示されますので、TRIM (▲/▼) キーを押して F-2、F-3、R-2 または R-3を選びます。）

Center Width : センターチャンネルの信号をフロントのL/Rチャンネルに振り分けることができます。
0～7までの8段階でセンターチャンネルの信号を徐々にフロントチャンネルに振り分ける調整ができます。センターイメージが強すぎると感じるときなどに調整します。（センターウイズを切り換えるには、ドルビープロロジックモードにして、SOUND キーを3回押します。 C WIDTH 3 （または別の値）が表示されますので、TRIM (▲/▼) キーを押して0 ～7を選びます。）

L C R
LFE SW
LS S RS

入力/出力状態表示はDOLBY DIGITALとDTSのときは、入力状態表示に、その他のときは出力状態表示になります。

LISTEN モードを手動で切り換えるには

本機で再生するディスクの内容によって、LISTEN MODE（LSTN MODEキーで選択）は下の表のように切り換えられます。

音源 / LISTENモード	ディスク				入力	
	DOLBY DIGITAL (5.1ch)	DOLBY DIGITAL (2ch)	DTS	VCD/CD (PCM, MP3)	*SAT/AV AUX デジタル コアキシャル/光	SAT/VCR/AV AUX アナログ
DOLBY DIGITAL	○	○			○	
DTS			○		○	
DOLBY PRO LOGIC II		○		○	○	○
DOLBY PRO LOGIC		○		○	○	○
CIRCLE SURROUND (CS-5.1)				○	○	○
DSP ARENA / JAZZ CLUB / THEATER / STADIUM / DISCO				○	○	○
STEREO	○	○	○	○	○	○

*SAT / AV AUXデジタル入力で選べるリッスンモードは入力ソース（音源）によって変わります。

選択されているLISTENモード表示が点灯します。

DTS　DOLBY DIGITAL　PRO LOGIC　DSP　CS-5.1

LSTN MODEキーを押す

リモコン

LSTN MODE

キーを押すごとに次のように切り換わります。

（PCMソースのとき）
① DOLBY PL II MOVIE
② DOLBY PL II MUSIC
③ DOLBY PRO LOGIC
④ CIRCLE SURROUND
⑤ ARENA
⑥ JAZZ CLUB
⑦ THEATER
⑧ STADIUM
⑨ DISCO
⑩ STEREO

（DTSソースのとき）
① DTS
② DTS STEREO

（DOLBY DIGITALソースのとき）
① DOLBY DIGITAL
② STEREO

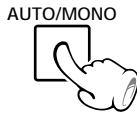
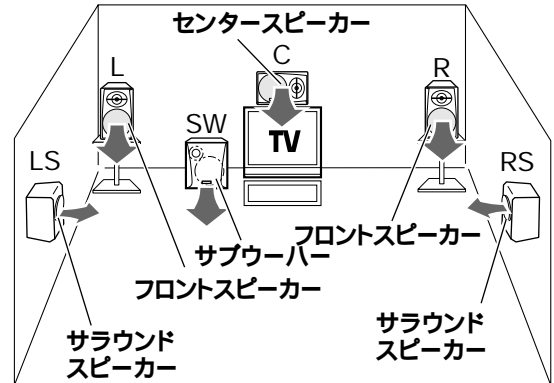
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、ダブルD記号及びPRO LOGICはドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」及び「DTS Digital Surround」はデジタルシアターシステムズの商標です。

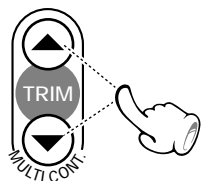
サウンド・リトリーバル・システムはSRS・ラブズ・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。SOUND RETRIEVAL SYSTEMおよびSRS（●）はSRS・ラブズ・インコーポレーテッドの商標です。この製品の購入はサウンド・リトリーバル・システムによる録音物を販売する権利を譲渡するものではありません。

DTSに関する注意事項

DTSデジタルサラウンドは独立した5.1チャンネルのデジタルオーディオフォーマットで、CD、LD、そしてDVDソフトウエアに使われていますが、たいていのCD、LD、DVDプレーヤーではデコードできませんし、また再生もできません。このため、DTSでエンコードされたソフトウエアを再生すると、CD、LD、またはDVDプレーヤーのアナログステレオ出力から雑音が出ることがあります。これらのアナログステレオ出力がアンプまたはレシーバーに直接接続されている場合にはご注意ください。
本機はDTSデジタルサラウンドデコーダーを搭載しています。
お持ちのCD、LD、DVDプレーヤーにディジタル出力があれば、本機のSAT DIGITAL IN 端子に光またはコアキシャルケーブルを接続すればDTSデジタルサラウンドをお楽しみいただけます。

スピーカーの配置

**最適なサラウンドサウンドで楽しむには、スピーカーの配置が重要なポイントになります。
下図を参考にベストな配置を探してください。**

本機は標準的な使い方でもっとも良好な音量バランスになるようにあらかじめ設定されています。

スピーカーレベルの初期設定値

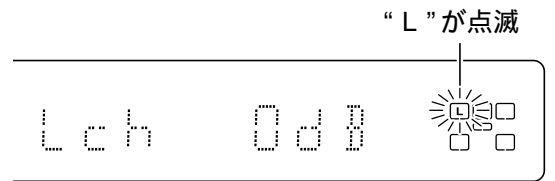
左フロントチャンネル (Lch)(L)	: 0dB
センターチャンネル (Cch)(C)	: 0dB
右フロントチャンネル (Rch)(R)	: 0dB
右サラウンドチャンネル (RSch)(RS)	:+6dB
左サラウンドチャンネル(LSch)(LS)	:+6dB
サブウーハー(SW)	: 0dB

次のようにして、視聴環境に合わせた設定ができます。

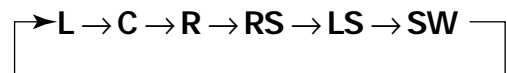
スピーカーレベル設定

❶ SETUPキーを2秒以上押す。

テストトーンが左フロントスピーカーから聴こえます。VOLUME CONTROLツマミで音量を設定して、後は設定が終わるまでそのままにします。

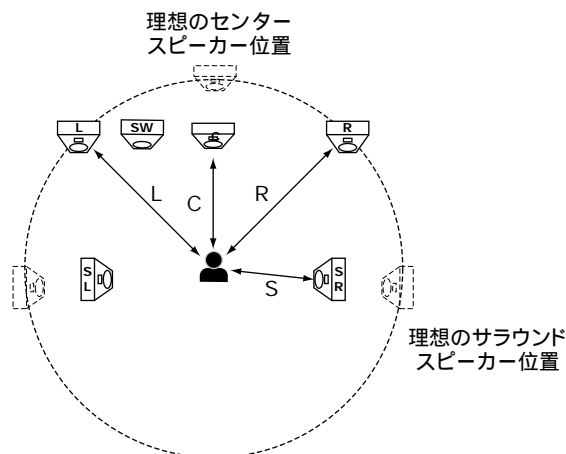
❷ TRIM (▲/▼)キーで、スピーカーレベルを調整します。

- 全てのスピーカーの設定が終わったら、ディレイタイム（遅延時間）の調整をします。（→47）。
- 作業を終了するときはENTERキーを押します。

スピーカーが約2秒ごとに下のように切り換わります。.

L → C → R → RS → LS → SW

サブウーハー（SW）以外のスピーカーの音量が等しく聞こえるように、TRIM (▲/▼) キーで調整します。1表示が点滅している間、そのスピーカーの調整ができます。
レベルは-10 dB から +10 dBまで調整できます。

サブウーハー（SW）は再生帯域が通常と異なるため、テストトーンでは調整できません。サブウーハーは音楽信号を聴いて調整してください。（→48）

操作編

**リスニングポジション（視聴位置）は全てのスピーカーから等距離の位置が理想です。
センタースピーカーとサラウンドスピーカーに関して、ディレイタイム（遅延時間）の設定を行うことによって、仮想的に理想の配置を実現することができます。（センタースピーカーとサラウンドスピーカーは下図の点線の中にレイアウトすることができます。）**

ディレイタイムの設定のしかた

ディレイタイムは、スピーカーからリスニングポジションまでの距離に換算してセットします。

左右のフロントスピーカーは 12 m（40フィート）から 0.9 m（3フィート）まで設定できます。
センタースピーカーとサラウンドスピーカーの設定はフロントスピーカーの設定によって変わります。フロントスピーカーより、遠い設定はできません。

ディレイタイム設定

この操作は、46ページのスピーカーレベル設定に続けて操作します。

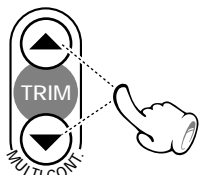
❶ **SETUP（セットアップ）キーを押す。**

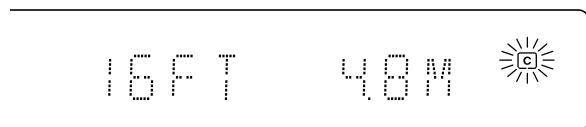
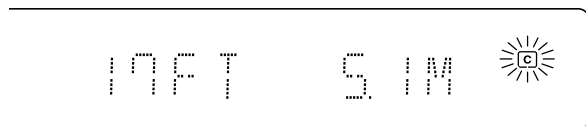
約5秒間操作をしないと元の表示に戻ります。

❷ **TRIM（トリム） (▲/▼)キーを押して、フロントスピーカーの距離を設定します。**

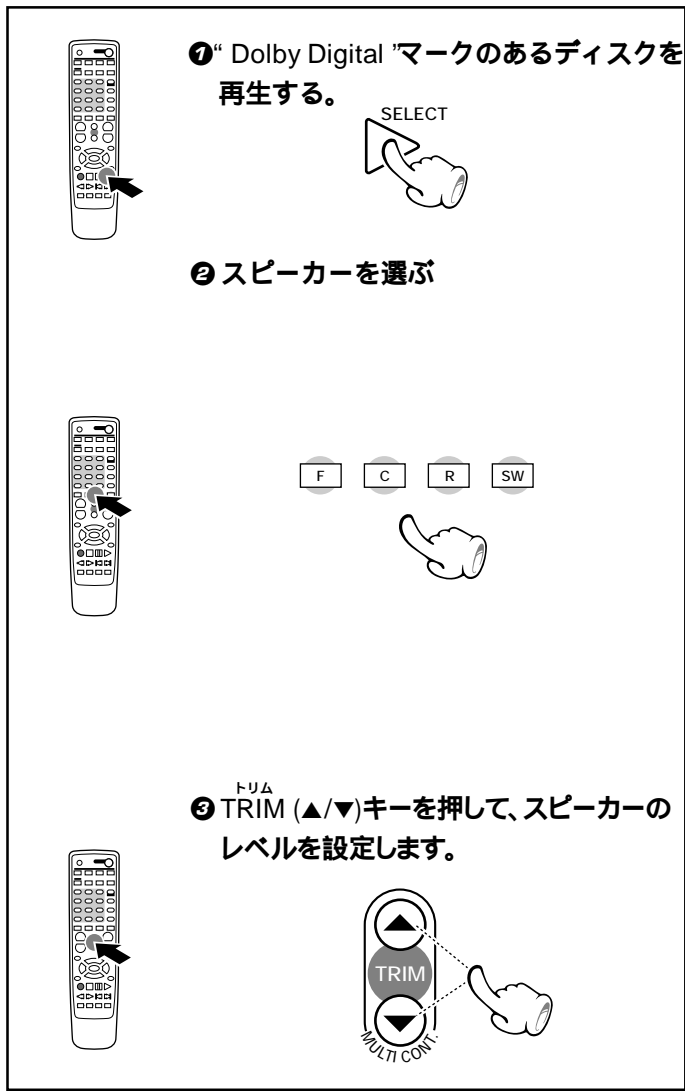
❸ **SETUPキーを押します。**

SETUPキーを押すとセンタースピーカーの設定に移ります。

17FT 5.1M C

❹ **TRIM（トリム） (▲/▼)キーを押して、センタースピーカーの距離を設定します。**

16FT 4.8M C

同様にステップ ❸ と ❹ を繰り返し、サラウンドスピーカーの設定をします。

音楽を聴いて、レベル設定をする

音楽を聴いて、サブウーハーや他のスピーカーのレベル設定をすることができます。

F、C、R、およびSWキーを押すことによりそれぞれのスピーカーのレベル設定をすることができます。

F: フロントスピーカー
キーを押すごとに、スピーカーが切り換わります。
① L ch : 左スピーカー
② R ch : 右スピーカー

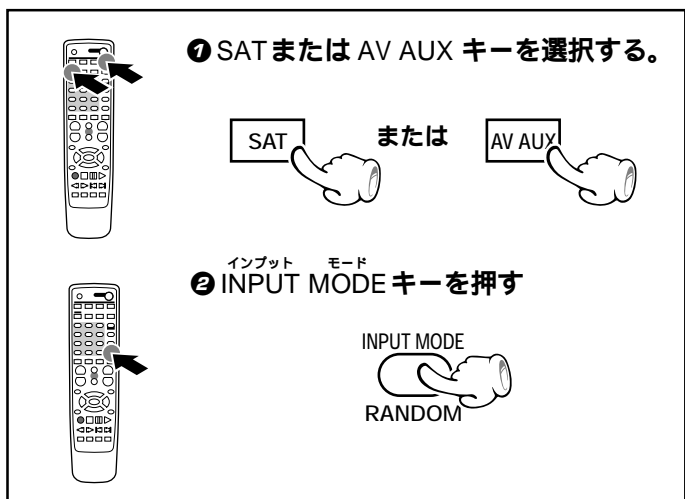
C: センタースピーカー

R: リアー（サラウンド）スピーカー
キーを押すごとに、スピーカーが切り換わります。
① LS ch : 左サラウンドスピーカー
② RS ch : 右サラウンドスピーカー

SW: サブウーハー

スピーカーレベルは10 dB から +10 dBまで変えられます。

入力モードを変えるには

SAT（サテライト）とAV AUX入力では入力のモードを切り換えて使うことができます。SAT入力などを高音質で聴くにはサテライトチューナーのデジタル出力端子にコアキシャル、または光ケーブルを接続し、次のように入力モードを切り換えます。

映像は映っても音声がでないときは、デジタル音声が記録されていない場合があります。この場合は、入力モードをANALOG（アナログ）に切り換えてください。

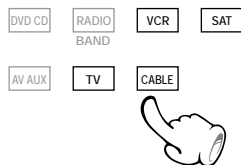
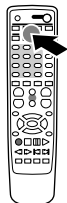
キーを押すごとに入力モードが切り換わります。

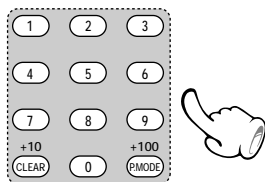
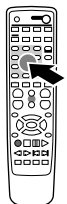
SAT 入力
① **ANALOG**
② **COAXIAL**（コアキシャル）
③ **OPTICAL**（オプティカル）

AV AUX 入力
① **ANALOG**
② **OPTICAL**

使用するAV機器のセットアップコードを登録する

AV機器はVCR、SAT（サテライトチューナー）, TV（テレビ）, および CABLE（ケーブルチューナー）に登録できます。

❶ ディバイスキー（下図の濃い色のキー）を2秒以上押す。

リモコン上のLEDインジケーターが点灯します。

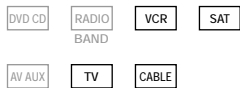
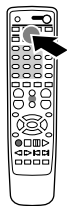
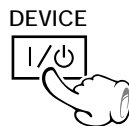
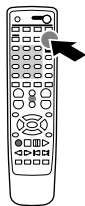
❷ 数字キーを使って、セットアップコードを入力する。

リモコンのLEDインジケーターが点灯している間に4桁のセットアップコード（コード表参照→50）を入力します。

- コードが正しくなかった場合や、認識されなかった場合LEDインジケーターが消灯します。
- コードが認識された場合は、LEDインジケーターが3回点滅して、セットアップが終了します。

❸ DEVICE（ディバイス） (I/⏻) キー CH +/- キーまたは数字キーを押して、コードのテストをする。

コードが正常ならば、その機器が動作します。

他の機器を操作するには

❶ 操作したい機器のキーを押す。

❷ DEVICE I/⏻. キーを押して、機器の電源を入れる。

❸ 機器の操作用キーを押す。

(操作できるキーの一覧 →53)

操作編

セットアップコード表

TV（テレビ）

ブランド	セットアップコード
ADMIRAL	0108 0478
AIKO	0107
AKAI	0045
ALARON	0194
AMERICA ACTION	0195
AMPRO	0766
ANAM	0195
AOC	0034 0045
AUDIOVOX	0107 0195 0466
BAYSONIC	0195
BELCOR	0034
BELL & HOWELL	0031 0169
BRADFORD	0195
BROCKWOOD	0251 0478
CANDLE	0045 0071
CARNIVALE	0045
CARVER	0069
CELEBRITY	0015
CINERAL	0107 0466
CITIZEN	0045 0071 0075 0107
CONCERTO	0071
CONTEC	0195
CRAIG	0195
CROSLEY	0069
CROWN	0195
CURTIS MATHES	0031 0045 0062 0066 0069 0071 0075 0108 0160 0169 0181 0466 0481 1162 1362
CXC	0195
DAEWOO	0034 0107 0466
DAYTRON	0034
DENON	0160
DUMONT	0032 0034
DWIN	0735 0789
ELECTROBAND	0015
EMERSON	0034 0169 0193 0194 0195 0251 0297 0478
ENVISION	0045
FISHER	0169
FUJITSU	0194 0698
FUNAI	0186 0194 0195
FUTURETECH	0195
GE	0036 0062 0066 0108 0193 0297 0466 1162 1362
GIBRALTER	0032 0034 0045
GRADIENTE	0068 0071
GRUNPY	0194 0195
HALLMARK	0193
HARLEY DAVIDSON	0194
HARMAN/KARDON	0069
HARVARD	0195
HITACHI	0031 0071 0160
INFINITY	0069
INTEQ	0032
JBL	0069
JCB	0015
JVC	0068
KEC	0195
KENWOOD	0034 0045
KTV	0045 0195
LG(GOLDSTAR)	0034 0045 0071 0193
LOGIK	0031
LUXMAN	0071
LXI	0062 0069 0169 0171 0193
MAGNAVOX	0045 0069 0194
MAJESTIC	0031
MARANTZ	0045 0069
MATSUSHITA	0265
MEGATRON	0160 0193
MEMOREX	0031 0071 0165 0169 0193 0265 0478
MGA	0034 0045 0165 0193
MIDLAND	0032 0062 0066
MINUTZ	0036
MITSUBISHI	0034 0108 0165 0193
MOTOLORA	0108
MTC	0034 0045 0071 0075
MULTITECH	0195
NAD	0171 0181 0193
NEC	0034 0045 0071
NIKKO	0045 0107 0193
NTC	0107
ONWA	0195
OPTIMUS	0169 0181 0265
OPTONICA	0108 0180
ORION	0194 0251 0478
PANASONIC	0034 0036 0045 0062 0066 0071 0075 0171 0193 1362
PHILCO	0034 0045 0069 0160 0478
PHILIPS	0069
PILOT	0034 0045
PIONEER	0181
PORTLAND	0034 0107
PRISM	0066
PROSCAN	0062
PROTON	0193 0481
PULSAR	0032 0034
QUASAR	0066 0180 0265
RADIOSHACK	0034 0045 0062 0071 0169 0180 0193 0195
RCA	0034 0062 0066 0105 0108 1062 1162 1262 1362 1462
REALISTIC	0034 0045 0071 0169 0180 0193 0195
RUNCO	0032 0045
SAMPO	0045
SAMSUNG	0034 0045 0071 0075 0193
SANSEI	0466
SANSUI	0478
SANYO	0169
SCIMITSU	0034
SCOTCH	0193
SCOTT	0034 0193 0194 0195 0251
SEARS	0062 0069 0071 0169 0171 0186 0193 0194
SEMIVOX	0195
SEMP	0171
SHARP	0108 0180
SHOGUN	0034
SIGNATURE	0031
SONY	0015
SOUNDESIGN	0193 0194 0195
SSS	0034 0195
STARLITE	0195
SUPREME	0015
SQUAREVIEW	0186
SYLVANIA	0045 0069
SYMPHONIC	0186
TANDY	0108
TECHNICS	0066 0265
TECHNOL ACE	0194
TECHWOOD	0066 0071
TEKNIKA	0031 0034 0069 0071 0180 0193 0194
TMK	0071 0193
WHITE WESTINGHOUSE	0478
YAMAHA	0034 0045
ZENITH	0031 0032 0107 0478

セットアップコード表(続き)

VCR(ビデオ)

ブランド	セットアップコード
ADMIRAL	0063 0224
AIKO	0293
AIWA	0015 0052
AKAI	0056 0064 0068
AMERICA ACTION	0293
AMERICAN HIGH	0050
ASHA	0255
AUDIOVOX	0052
BEAUMARK	0255
BELL & HOWELL	0119
BROCKSONIC	0224
BROKSONIC	0017 0136 0199 0224 0376
CALIX	0052
CANON	0050
CARVER	0096
CCE	0087 0293
CINERAL	0293
CITIZEN	0052 0293
COLT	0087
CRAIG	0052 0062 0087 0255
CURTIS-MATHES	0050 0056 0075 0177
CYBERNEX	0066 0255
DAEWOO	0060 0293
DENON	0057
DYNATECH	0015
ELECTROHOME	0052
ELECTROPHONIC	0052
EMEREX	0047
EMERSON	0015 0017 0051 0052 0058 0083 0103 0136 0199 0224 0293 0376
FISHER	0062 0069 0119
FUJI	0048 0050
FUNAI	0015
GARRARD	0015
GE	0050 0063 0075 0255
GRADIENTE	0015 0023
HARLEY DAVIDSON	0015
HARMAN KARDON	0053 0096
HARWOOD	0083 0087
HEADQUARTER	0061
HI Q	0062
HITACHI	0015 0056 0057 0097 0181
HUGHES NETWORK SYSTEMS	0057
JENSEN	0056
JVC	0023 0056 0082
KEC	0052 0293
KENWOOD	0053 0056 0082
KLH	0087
KODAK	0050 0052
LG (GOLDSTAR)	0052 0053
LLYOD'S	0015
LOGIK	0087
LXI	0052
MAGGIN	0255
MAGNASONIC	0293
MAGNAVOX	0015 0050 0054 0096
MARANTZ	0050 0096
MARTA	0052

ブランド	セットアップコード
MATSUSHITA	0050 0177
MEI	0050
MEMOREX	0015 0050 0052 0054 0061 0062 0063 0119 0177 0224 0255 1052 1177 1277
MGA	0058 0255
MGN TECHNOLOGY	0255
MINOLTA	0057
MITSUBISHI	0058 0063 0082
MOTOROLA	0050 0063
MTC	0015 0255
MULTITECH	0015 0087
NAD	0073
NEC	0053 0055 0056 0082 0097 0119
NIKKO	0052
NIKON	0049
NOBLEX	0255
OLYMPUS	0050
OPTIMUS	0052 0063 0073 0119 0177 1063 1077 1177 1277
ORION	0017 0199 0224
PANASONIC	0050 0177 0631 1077 1177 1277
PENNEY	0050 0052 0053 0055 0057 0069 0255
PENTAX	0057
PHILCO	0050 0224
PHILIPS	0050 0096 0633
PILOT	0052
PIONEER	0073 0082
PROFITRONIC	0255
PROSCAN	0075
PROTEC	0087
PULSAR	0054 0066
QUARTER	0061
QUARTZ	0061
QUASAR	0050 0177 1177
RADIO SHACK	0015 1052
RADIX	0052
RANDEX	0052
RCA	0050 0057 0063 0075 0255
REALISTIC	0015 0050 0052 0061 0062 0063 0119
REPLAYTV	0629 0631
RICOH	0049
RUNCO	0054
SAMSUNG	0060 0066 0068 0255
SANKY	0054 0063
SANSUI	0015 0056 0082 0097 0224
SANYO	0061 0062 0119 0255
SCOTT	0058 0060 0136 0199
SEARS	0015 0050 0052 0057 0061 0062 0069 0119
SEMP	0060
SHARP	0063
SHINTOM	0087
SHOGUN	0066 0255

ブランド	セットアップコード
SINGER	0087
SONY	0015 0047 0048 0049 0050
STS	0057
SYLVANIA	0015 0050 0058 0096
SYMPHONIC	0015
TATUNG	0056
TEAC	0015 0056
TECHINICS	0050 0177
TEKNIKA	0015 0050 0052 0067
THOMAS	0015
TIVO	0633
TMK	0051 0255
TOSHIBA	0058 0060
TOTEVISION	0052 0255
UNITECH	0255
VECTOR	0060
VECTOR RESEARCH	0053 0055
VIDEO CONCEPTS	0055 0060
VIDEOSONIC	0255
WARDS	0015 0050 0057 0062 0063 0075 0087 0096 0255
WHITE WESTINGHOUSE	0224 0293
XR-1000	0015 0050 0087
YAMAHA	0053
ZENITH	0015 0048 0049 0054 0224

セットアップコード表（続き）

CABLE（ケーブルチューナー）

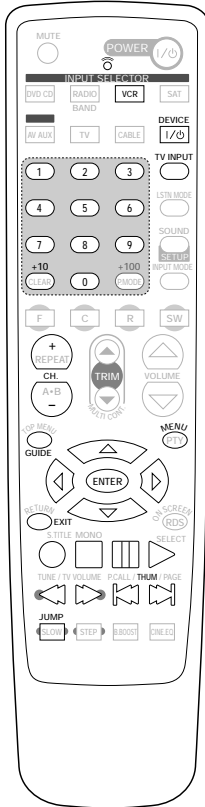
ブランド	セットアップコード
ABC	0018 0023 0026 0028 0029 0048 0062
BELL&HOWELL	0029
COMBAND	0247
COMTRONICS	0055
CONTEC	0034
ELECTRICORD	0093
EVERQUEST	0030 0055
GE	0247
GEMINI	0030
GENERAL INSTRUMENTS	0026 0291 0491
HITACHI	0026
JASCO	0030
JERROLD	0018 0026 0027 0029 0030 0062 0291
LG(GOLDSTAR)	0055 0159
MACOM	0048
MEMOREX	0015
MOVIE TIME	0078 0093
NSC	0078
OAK	0034 0263
OPTIMUS	0036
PANASONIC	0015 0036 0122
PARAGON	0015
PHILIPS	0305
PIONEER	0038 0159 0548 0892
PULSAR	0015
QUASAR	0015
RADIOSHACK	0030
RCA	0036
REMBRANDT	0026
RUNCO	0015
SAMSUNG	0055 0159
SCIENTIFIC ATLANTA	0023 0292 0492 0892
SIGNAL	0030 0055
SIGNATURE	0026
SL MARX	0055
SPRUCER	0036
STARCOM	0030 0055
STARQUEST	0030
TELEVIEW	0055
TIMELESS	0433
TOCOM	0027 0028
TOSHIBA	0015
TUSA	0030
TV86	0078
UNIVERSAL	0093 0206
VIDEOWAY	0265
VIEWSTAR	0078 0304
ZENITH	0015 0540 0914

SATELLITE（サテライトチューナー）

ブランド	セットアップコード
ALPHASTAR	0787
AMWAY	0090
CABLE INNOVATIONS	0569
CHANNEL MASTER	0033
CHAPARRAL	0068 0224
CURTIS MATHES	0076
DRAKE	0033 0081 0164 0165
DX ANTENNA	0056
ECHOSTAR	0163 0284 0295 0790
EXPRESVU	0790
GENERAL INSTRUMENTS	0053 0065 0376 0569 0642 0884
HITACHI	0834
HTS	0790
HUGHES NETWORK SYSTEMS	0764
IQ	0225
IQ PRISM	0225
JERROLD	0051 0376 0642
JVC	0790
KEMWOOD	0279
LEGEND	0284
MACOM	0033 0065 0076
MAGNAVOX	0737 0739
MEMOREX	0284 0739
NEXT LEVEL	0884
PANASONIC	0716
PHILIPS	0737 0739
PICO	0090
PRIMESTAR	0376 0642
RADIOSHACK	0569 0884
RAMSEY	0090
RCA	0158 0407 0581 0870
REALISTIC	0067
SONY	0654
STAR CHOICE	0884
STAR TRAK	0195
STARCAST	0057
STS	0056 0225
TOSHIBA	0076 0097 0805
UNIDEN	0067 0089 0091 0569 0737 0739
ZENITH	0076 0871

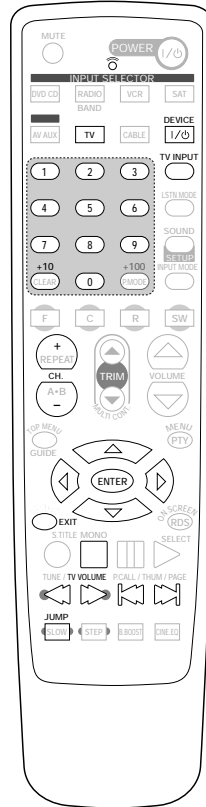
接続された機器で使用できるキー

図の中で、濃い色にキーが使用できます。

VCR（ビデオ）

操作キーは表示と異なる場合があります。

TV INPUT : TV/VCR

⏮ ⏭ : THUM（サム）B +/-

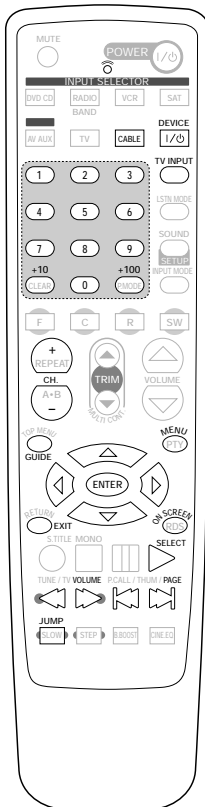
TV（テレビ）

操作キーは表示と異なる場合があります。

TV INPUT : TV/VCR

STOP : MUTE（消音）

⏮ ⏭ : FF/REW
（早送り/はや戻し）

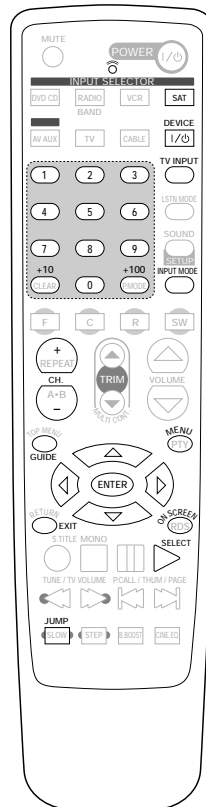
◁ ▷ : VOLUME（音量）+/-

CABLE（ケーブルチューナー）

操作キーは表示と異なる場合があります。

TV INPUT : INPUT

⏮ ⏭ : PAGE（ページ）+/-

◁ ▷ : VOLUME（音量）+/-

SAT（サテライトチューナー）

操作キーは表示と異なる場合があります。

TV INPUT : INPUT（入力）

DVR-7000 (J)

DVD メニュー言語表

コード番号	言語
6565	アファル
6566	アブハジア
6570	アフリカーン
6577	アムハラ
6582	アラビア
6583	アッサム
6588	アイラマ
6590	アゼルバイジャン
6665	パシキール
6669	ベロルシア
6671	ブルガリア
6672	ビハール
6678	ベンガル（バングラ）
6679	チベット
6682	ブルターニュ
6765	カタロニア
6779	コルシカ
6783	チェコ
6789	ウェールズ
6865	デンマーク
6869	ドイツ
6890	ブータン
6976	ギリチャ
6978	英語
6979	エスペラント
6983	スペイン
6984	エストニア
6985	バスク
7065	ペルシャ
7073	フィンランド
7074	フィジー
7079	フェロー
7082	フランス
7089	フリジア
7165	アイルランド
7168	スコットランド
7176	ガリチア
7178	グアラニー
7185	グジャラト
7265	ハウサ
7273	ヒンディー
7282	クロアチア
7285	ハンガリー
7289	アルメニア
7365	インターリングア
7378	インドネシア
7383	アイスランド
7384	イタリア
7387	ヘブライ
7465	日本語
7473	イディッシュ
7487	ジャワ
7565	グルジア
7575	カザフ
7576	グリーンランド
7577	カンボジア
7578	カンナダ
7579	韓国語
7583	カシミール
7585	クルド
7589	キルギス
7665	ラテン
7678	リンガラ
7679	ラオ
7684	リトアニア
7686	ラトビア（レット）
7771	マダガスカル
7773	マオリ
7775	マケドニア
7776	マラヤーラム
7778	モンゴル
7779	モルダビア
7782	マラッタ
7783	マライ（マレー）
7784	マルタ
7789	ビルマ
7865	ナウル
7869	ネパール
7876	オランダ
7879	ノルウェー
7982	オーリャ
8065	パンジャブ
8076	ポーランド
8083	パシュト
8084	ポルトガル
8185	ケチュア
8277	レトロマンス
8279	ルーマニア
8285	ロシア
8365	サンスクリット
8368	シンド
8372	セルボクロアチア
8373	シンハラ
8375	スロバキア
8376	スロベニア
8377	サモア
8378	ショナ
8379	ソマリ
8381	アルバニア
8382	セルビア
8385	スンダ
8386	スウェーデン
8387	スワヒリ
8465	タミル
8469	テルグ
8471	タジク
8472	タイ
8473	ティグリニア
8475	トルクメン
8476	タガログ
8479	トンガ
8482	トルコ
8484	タタール
8487	トウイ
8575	ウクライナ
8582	ウルドゥー
8590	ウズベグ
8673	ベトナム
8679	ヴォラピュック
8779	ウォロフ
8872	コーサ
8979	ヨルバ
9072	中国語
9085	ズールー

故障と思われる症状ですが...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンの時の電源コードの抜き差しや、外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、表示部の誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- **リセットにより、DVDの設定以外の各種の記憶内容は消滅し、工場出荷状態となります。ご了承ください。**

POWER(パワー)スイッチをON(オン)(スタンバイ状態)にします。▶▶|キー、|◀◀キーとSTOP(ストップ)キーを順番に押します。

レシーバー(ラジオ)、スピーカー部

症　状	原　因	処　置
音がでない	● スピーカーコードが接続されていない。 ● MUTE(消音)機能が働いている。 ● ヘッドホンプラグが挿入されている。	●「接続のしかた」を参照して正しく接続する → 11 ● リモコンのMUTE キーを押し解除する → 17 ● ヘッドホンプラグを抜く → 17
右または左のスピーカーから音がでない	● スピーカーコードが接続されていない。	●「接続のしかた」を参照して正しく接続する → 11
放送を受信できない	● アンテナが接続されていない。 ● 適切な放送バンドが選ばれていない。 ● 放送局のある周波数を選んでいない。	● アンテナを接続する → 12 ● バンドを選ぶ。 → 20 ● 放送局のある周波数を選択する。 → 20
雑音が混信する	● 車のイグニッションノイズを拾っている。 ● 電子機器の影響を受けている。 ● テレビが本機の近くに置かれている。	●屋外アンテナを、道路から離して設置する。 → 12 ● 疑わしい電子機器の電源を切る。 ● テレビと本機の間を離しておく。 → 12
プリセットした放送局が、P.CALLキーで呼び出せない。	● プリセットした周波数の放送局が、受信できない放送局である。 ● 電源コードを長い期間抜いてあったため、プリセットメモリーが消えた。	● 受信できる周波数をプリセットする。 → 21 ● もう一度プリセットし直す。 → 21
音楽を聴いていたら突然スタンバイモードになった。	● 過大音量で、本機の内部温度保護回路が働いた。	● POWERスイッチを押して、電源をオフにし、15分ほど放置して、冷却してから電源をオンする。 この操作を繰り返しても正常復帰しない場合には販売店、またはケンウッドサービスセンターにサービスを依頼する。
電源をオンにしてもスタンバイモードになってしまう。	● マイクロコンピュータの動作が一時的に正常ではなくなった。または、スピーカコードの接続が正しくされていない。	● リセット操作をする。 → 55 ● スピーカーの接続をチェックする。スピーカーの接続をチェックして、直らなかった場合には販売店、またはケンウッドサービスセンターにサービスを依頼する。 → 11
サラウンドスピーカーから音がでない。	● リッスンモードがステレオになっている。	● LSTN MODEキーでリッスンモードを切り換える。 → 45

知識編

リモコン部

症　状	原　因	処　置
リモコンで操作できない。	● 電池切れ。 ● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ● ディスクがセットされていない。	● 新しい電池に入れ換える。 → 16 ● 操作範囲内で操作する。 → 16 ● ディスクをセットする。 → 22
	● 本体キーで操作をした。 **● 動作をしないキーを押している。**	**● 入力キーか、ディバイスキーを一度押してから操作をする。** → 17

DVD /CDプレーヤー部

症　状	原　因	処　置
►/II キーを押しても、再生が始まらない	●ディスクが入っていない。 ●信号が記録されていない面を再生している。	●ディスクを入れて、►/IIキーを押す。 → 22 ●ディスクを裏返して正しく入れ直す。 → 22
再生が始まっても、映像／音声が出ない。	●TVの電源が入っていない。 ●接続コード類が正しく接続されていない。	●T Vの電源を入れる。 ●正しく接続し直す。 → 13
再生時、早送りで、画像が乱れる。	●早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。	●故障ではありません。
音が出ない。	●音量設定が適量に設定されていない。 ●特殊な再生モードになっている。	●適正な音量に調節します。 → 17 ●►/IIキーを押して通常モードにします。 → 22
きれいに映らない、画質／音質がよくない。	●雑音源と思われる他の機器が、そばにある。 ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズが結露している。	●本機と、雑音源と思われる他の機器をできるだけ離す。 ●“ ディスク取扱上のご注意 ”を参照し、汚れをふきとる。 → 8 ●新しいディスクと交換する。 ●“ 露付きにご注意 ”を参照し、露を蒸発させる。 → 8
再生が始まるまでに時間がかかる。	●ディスクの種類やサイズの検出、モーターの回転を安定させるためで、故障ではありません。	●ディスクによって異なりますが、約10〜20秒程度待ちます。
画面の上下が欠ける。	●再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットの関係が合っていない。	●ビデオフォーマットについて ”を参照し、正しいフォーマットのディスクと、テレビを使用します。 → 10
VCDのメニュー再生ができない	●プレイバック・コントロール付き以外のVCDを再生しようとしている。	●プレイバック・コントロール付きのVCD以外は、メニュー再生できません。 → 33
字幕がでない。	●字幕の入っていないDVDディスクを再生しようとしている。 ●字幕モードがオフになっている。	●字幕の入っていないDVDディスクは字幕が表示されません。 ● ***S.TITLE***（サブタイトル）キーを押して、字幕モードをオンにする。 → 26
音声（または字幕）言語が切り換えられない。	●複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクを再生しようとしている。	●複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクは、言語を切り換えられません。

DVD /CDプレーヤー部（続き）

症　状	原　因	処　置
アングルを切り換えて見ることができない。	●複数のアングルが記録されていないDVDディスクを再生しようとしている。 ●DVDディスクの複数のアングルが記録されていない部分でアングルを切り換えようとしている。	●複数のアングルが記録されていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。 ●複数のアングルは、特定の部分のみ記録されている場合があります。 → 27
リジョンコードがALLと表示されていても再生できない。	●ALLと表示されていても全てのリジョンコードで再生できないディスクがあります。	●別のディスクを再生してください。
タイトルを選んでも、再生が始まらない。	●レイティングが設定されている。	●レイティングの設定を確認してください。 → 40
レイティングが変更できない。	●設定したパスワードを忘れた。	●以下の手順でパスワードをリセットしてください。 ディスクを取り出し、再生キー（▶/❚❚）を押す。“ NO DISC ”表示がでたら、リモコンの **DVD CD**キー、► キー、◄ キー、▼ キー、▲ キーを順に押し、本体の❘◀◀ キーを押す。 **POWER**スイッチを**OFF**にしたあと、 **POWER** スイッチをもう一度**ON**にする。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	●再生しようとしているDVDディスクに選んだ音声言語や字幕言語が入っていない。	●選んだ音声言語や字幕言語が入っているDVDディスクに交換する。 → 39
キー操作をしたときにテレビ画面にメッセージがでない。	●テレビ画面のメッセージ表示機能（オンスクリーン表示）がオフになっている。	●テレビ画面の表示機能（オンスクリーン表示）をオンにする → 24
希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。	●ディスクメニュー言語機能（MENU）でメニューが設定されていない。	●ディスクメニュー言語機能（MENU）を設定する。 → 40

禁止アイコン

症　状	原　因	処　置
🚫 **禁止アイコンが表示され、リモコンで操作できない。**	●ソフト制作者が意図して再生制限状態にしてある。	●操作できませんので、他の操作をしてください。 → 10

本体

[アンプ部]

実効出力(ステレオ時)
1 kHz, ひずみ率10 %. 6 Ω .... 40 W + 40 W
実効出力(サラウンド時)
フロント(1 kHz, ひずみ率10 %. 6 Ω) .... 40 W + 40 W
センター(1 kHz, ひずみ率10 %. 6 Ω) .... 40 W
サブウーハー(1 kHz, ひずみ率10 %. 6 Ω) .... 40 W
サラウンド(1 kHz, ひずみ率10 %. 6 Ω) .... 40 W + 40 W
入力感度/インピーダンス
VCR / SAT / AV AUX .... 600 mV / 68 kΩ
出力レベル/インピーダンス
VCR .... 600 mV / 470 Ω

[チューナー(ラジオ)部]

FM チューナー部
周波数範囲 .... 76 MHz 〜 90 MHz
AM チューナー部
周波数範囲 .... 531 kHz 〜 1,629 kHz

[DVD/CD/VCD プレーヤー部]

レーザー .... 半導体レーザー
ワウフラッター .... 測定限界以下
ビデオ出力方式 .... NTSC
ビデオ出力
コンポジットビデオ出力/インピーダンス .... 1 Vp-p (75 Ω)
S- ビデオ出力
Y 出力レベル/インピーダンス .... 1 Vp-p (75 Ω)
C 出力レベル/インピーダンス .... 0.286 Vp-p (75 Ω)
コンポーネントビデオ出力/インピーダンス
Y 出力レベル/インピーダンス .... 1 Vp-p (75 Ω)
C/b 出力レベル/インピーダンス .... 0.7 Vp-p (75 Ω)
C/r 出力レベル/インピーダンス .... 0.7 Vp-p (75 Ω)
圧縮方式 MPEG1/MPEG2

[デジタルオーディオ部]

サンプリング周波数 .... 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz
入力レベル/インピーダンス/波長
光 .... -15 dBm 〜 21 dBm (660 nm ± 30 nm)
コアキシャル .... 0.6 Vp-p (75 Ω)
デジタル出力 .... -15 dBm 〜 21 dBm (波長 660 nm)

[一般]

定格消費電力 .... 140 W
最大外形寸法 .... W: 440 mm
H: 93 mm
D: 410 mm
質量(重量) .... 8.5 kg

スピーカー部(KSW-7000) (フロント/センター/サラウンド)

型式 .... 密閉型 (防磁タイプ)
スピーカー構成
フルレンジ .... 50 mm、コーン形
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 40 W
最大寸法 .... W: 70 mm
H: 125 mm
D: 108mm
質量(重量) .... 0.48 kg (フロント/センタースピーカー) (1 台)
0.36 kg (サラウンドスピーカー) (1台)

スピーカー部(KSW-7000)(サブウーハー)

型式 .... バスレフ方式 (防磁タイプ)
スピーカー構成
ウーハー .... 160 mm、コーン形
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 40 W
最大寸法 .... W: 175 mm
H: 310 mm
D: 295 mm
質量(重量) .... 4.9 kg

1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い(摂氏0度以下の)場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。

ケンウッドサービス網

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14丁目1-23	電話(011) 743-7740
帯広サービスステーション	〒080-2472	帯広市西22条南3-32-6	電話(0155) 33-0611
旭川サービスステーション	〒070-0036	旭川市6条通14丁目63-5	電話(0166) 24-3810

東北

仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12（サンライズ大和）	電話(022) 284-1171
盛岡サービスセンター	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	電話(019) 646-2311
青森サービスステーション	〒030-0821	青森市勝田1-19-4	電話(017) 735-3431
八戸サービススポット	〒031-0072	八戸市城下4-19-8（テクニカルスタッフ八戸）	電話(0178) 45-8846
秋田サービスステーション	〒010-0877	秋田市千秋矢留町9-14	電話(018) 836-0131
郡山サービスステーション	〒963-0107	郡山市安積3-257	電話(024) 945-8279
山形サービスステーション	〒990-0034	山形市東原町3-9-8	電話(023) 623-7441

関東・甲信越

高崎サービスセンター	〒370-0073	高崎市緑町2-9-1	電話(027) 362-6211
新潟サービスステーション	〒950-0923	新潟市姥ヶ山1-5-37	電話(025) 287-7736
松本サービスステーション	〒390-0832	松本市南松本2-7-30（昭和ビル2F）	電話(0263) 26-7331
さいたまサービスセンター	〒330-0033	さいたま市本郷町258-1	電話(048) 664-3611
宇都宮サービスステーション	〒321-0962	宇都宮市今泉町1639-3	電話(028) 638-3161
水戸サービスステーション	〒311-4152	水戸市河和田3-2422-1	電話(029) 253-6711
千葉サービスセンター	〒261-7117	千葉市美浜区中瀬2-6 (ワールドビジネスガーデン マリブイースト17F)	電話(043) 297-2311
柏サービスステーション	〒277-0081	柏市富里1-2-1	電話(0471) 63-1441
池袋サービスカウンター	〒171-0022	豊島区南池袋3-18-43（内山ビル1F）	電話(03) 5958-4810
東京サービスセンター	〒153-0042	目黒区青葉台3-17-9	電話(03) 3477-5411
立川サービスステーション	〒190-0012	立川市曙町1-24-11（橋本ビル1F）	電話(042) 523-2151
横浜サービスステーション	〒221-0822	横浜市神奈川区鶴屋町3-33-18（SKビル1F）	電話(045) 314-2591
神奈川中央サービスセンター	〒228-0012	座間市広野台2-8-21	電話(046) 256-9681

中部

名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	電話(052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒420-0816	静岡市沓谷5-61-1	電話(054) 262-8700
豊橋サービスステーション	〒440-0051	豊橋市東雲町62-1（センティア広野1F）	電話(0532) 63-3280
津サービスステーション	〒514-0042	津市新町2-10-29（新町オフィスビル1F）	電話(059) 222-4360
金沢サービスセンター	〒920-0024	金沢市西念3-29-11	電話(076) 265-5045

近畿

大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	電話(06) 6394-8075
京都サービスステーション	〒612-8374	京都市伏見区治部町56-1	電話(075) 603-7750
神戸サービスステーション	〒650-0024	神戸市中央区海岸通2-2-3（サンエービルディング東館4F）	電話(078) 333-1743

中国・四国

広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-17	電話(082) 832-2210
岡山サービスステーション	〒700-0953	岡山市西市308-6	電話(086) 241-8037
高松サービスセンター	〒760-0068	高松市松島町3-1	電話(087) 835-2413
松山サービスステーション	〒791-8013	松山市山越4-11-2	電話(089) 925-5760

九州

福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	電話(092) 551-9755
北九州サービスステーション	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1-12-25	電話(093) 921-2771
熊本サービスステーション	〒862-0910	熊本市健軍本町29-3	電話(096) 368-4161
大分サービスステーション	〒870-0921	大分市萩原2-9-18	電話(097) 553-3207
宮崎サービスステーション	〒880-0803	宮崎市旭1-6-30（サニービル2F）	電話(0985) 26-1161
鹿児島サービスステーション	〒890-0056	鹿児島市下荒田2-20-1	電話(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒901-2227	宜野湾市宇地泊89	電話(098) 898-2255

カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンター東京	〒153-0042	東京都目黒区青葉台3-17-9	FAX (03)3477-5335	電話(03) 3477-5334
カスタマーサポートセンター大阪	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	FAX (06)6394-8085	電話(06) 6394-8308

- **ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内**
  月曜日～金曜日（土曜、日曜祭日および当社休日を除く）　午前10時から午後6時まで
- **池袋サービスカウンター　営業時間のご案内　<持込修理取次店>**
  月曜日～金曜日（木曜および当社休日を除く）　午前10時から午後7時まで
- **カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内**
  月曜日～金曜日（土曜、日曜祭日および当社休日を除く）　午前9時から午後6時まで

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別途添付）

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、“ケンウッドサービス網”をご覧ください）

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通省産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“故障と思われる症状ですが…”に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み（有料修理の場合は、つぎの料金をいただきます）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費や、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金および通行料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　）　　-

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501　東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
  お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335　〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
  （大阪）電話（06）6394-8085　〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。